

第6次綾部市総合計画及び第2期綾部市地方創生総合戦略策定に向けたアンケート調査結果報告書（概要版）

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和3年度を初年度とする「第6次綾部市総合計画」の策定、および喫緊の課題である人口減少をはじめとした様々な課題解決にむけて、市民の皆様のご意見やお考えを把握するため、「市内にお住まいの16歳以上の方」と「綾部市立中学校に通う中学生」とともに、「市内企業で従業する市外在住の方」を対象とし、綾部市に対するイメージ等、内外の視点から広く考察を得るために実施したものです。

2. 実施概要

調査	対象	実施時期・調査方法	回収数
市民意識調査	16歳以上の市民 3,000人	令和元年8月26日～ 9月11日実施 郵送による配布・回収	回収数：1199票 回収率：40.0%
中学生意識調査	市立の中学校に通う 中学2年生・3年生 545人	令和元年8月26日～ 9月13日実施 学校で配布・回収	回収数：511票 回収率：93.8%
企業従業員（市外在住）意識調査	市内企業にお勤めの 市外居住者 1,000人	令和元年8月26日～ 9月17日実施 企業による配布 郵送による回収	回収数：434票 回収率：43.4%

3. 調査結果の見方

◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

SA=単数回答：「1つに○」等、選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答：「あてはまるものすべてに○」等、2つ以上の選択肢を選ぶ質問形態

◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。

◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答等）の件数（票数）を示しています。

◇ グラフには、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。

◇ 集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

II 調査結果のまとめ

本調査結果から、今後綾部市が検討すべき課題を以下のとおり考察する。

1. 綾部市の強み（地域の魅力や資源等）の活用に向けて

1. 豊かな自然環境の活用

★移住者等にとって、綾部市の豊かな自然環境は重要な要素の一つとなっている

○綾部市に対するイメージについて、市民、中学生、企業従業員で共通して「自然が豊かなまち」の割合が最も高い。

【市民の間1、中学生の間1、企業従業員の間2】

○綾部市に住んでみたい理由は、「自然が豊かである」の割合が最も高い。
【企業従業員の間6-1】

2. 市のイベントの魅力の発信

★「お祭りなどのイベント」等は市の魅力として市内外に認知されている

○綾部市の魅力について、「イベント（水無月まつり 等）」は、市民、中学生、企業従業員で共通して「魅力を感じる」の割合が最も高い。

【市民の間2、中学生の間2、企業従業員の間3】

○仕事以外で、綾部市を訪れる際の目的は、「お祭りなどのイベントに参加するため」の割合が4番目に高い。
【企業従業員の間1】

3. 都市イメージ「ものづくりのまち」の活用

★企業従業員と比べ、市民や中学生は「ものづくりのまち」に関するイメージの認識が不十分な実態

○綾部市に対するイメージについて、市民、中学生と比べて企業従業員では「ものづくりのまち」の割合が特に高い。

【市民の間1、中学生の間1、企業従業員の間2】

○綾部市がどのようなまちになると良いかについて、市民、中学生と比べて企業従業員では「工業が発展した、ものづくりのまち」の割合が特に高い。
【市民の間12、中学生の間7、企業従業員の間9】

4. 市の魅力に関する市民認識の向上

★綾部市の魅力ある資源について、市民にその魅力が十分に共有されていない実態

○「あやベグンゼスクエア」「古民家を改装した食事処・菓子屋」「寺社等」については、市民で「魅力を感じる」の割合が最も高い一方で、中学生、企業従業員では「知っているが魅力を感じない」「知らない」の割合が最も高い。
【市民の間2、中学生の間2、企業従業員の間3】

○「綾部ふれあい牧場」「天文館パオ」「図書館」「黒谷和紙と関連施設」については、中学生で「魅力を感じる」の割合が最も高い一方で、市民、企業従業員では「知っているが魅力を感じない」「知らない」の割合が最も高い。
【市民の間2、中学生の間2、企業従業員の間3】

○移住や観光する自治体を検討する際の情報源として重要なものは、「家族・友人・知人の口コミ」「ネットのブログなど、不特定多数の口コミ」の割合が特に高い。
【企業従業員の間12】

5. 子育て・教育環境の良さの活用

★「子育て環境の充実」は教育環境の良さも含め、市民から一定の評価を得ている

○市の取組の重要度が特に高い「幼児教育の充実」「学校教育の充実」「子育て環境の充実」について、市民の満足度、改善度ともに高い。

【市民の間 10】

○綾部市の人口減少対策を進める際の方向性として、市民、企業従業員に共通して「子どもを産み・育てやすくするための取組を進める」の割合が高い。

【市民の間 11、企業従業員の間 8】

○綾部市がどのようなまちになると良いかについて、市民、企業従業員では「出産・子育てをする環境が充実した、子育てしやすいまち」の割合が特に高い。

【市民の間 12、企業従業員の間 9】

○綾部市のまちづくりに対する意見・提案としても、教育や子育てに関する内容の意見が多い。

【市民の間 13】

6. 充実した福祉の活用

★綾部市の福祉全般の取組は、市民から一定の評価を得ている

○市の取組の重要度が特に高い「子育て環境の充実」「高齢者福祉の推進」「障害者福祉の推進」について、市民の満足度、改善度ともに高い。

【市民の間 10】

○綾部市がどのようなまちになると良いかについて、市民では「子どもから高齢者まで、だれもがいつまでも安心して暮らせる、やすらぎのまち」の割合が特に高い。

【市民の間 12】

7. 安心・安全なまちの持続

★綾部市は「治安のよいまち」のイメージが根付いており、防災対策等の取組についても市民から一定の評価が得られている

○綾部市に対するイメージについて、市民、中学生、企業従業員で共通して「治安のよいまち」の割合が2番目に高い。

【市民の間 1、中学生の間 1、企業従業員の間 2】

○市の取組の重要度が特に高い「防災対策の推進」「消防・救急体制の充実」「生活の安全性の向上」について、市民の満足度、改善度ともに高い。

【市民の間 10】

○綾部市がどのようなまちになると良いかについて、中学生では「災害に強く、事故や犯罪のない、安全なまち」の割合が特に高い。

【中学生の間 7】

○中学生が市長になったらやってみたいまちづくりとして、災害対策などの安心・安全なまちづくりに関する意見が多い。

【中学生の間 8】

2. 綾部市のまちづくりにおける課題解決に向けて

1. 交通・生活の利便性の向上

★交通や買い物といった生活の利便性については、市民、中学生、企業従業員に共通して居住地を選ぶ際の重要な要素になっている

○綾部市に住みたくない理由は、市民、中学生、企業従業員に共通して“交通や買い物などの生活の不便さ”に関する回答の割合が特に高い。

【市民の間 5-2、中学生の間 4-2、企業従業員の問 6-2】

○最も魅力ある近隣市・町の主な魅力は、市民、中学生、企業従業員に共通して「交通利便性」「生活環境」の割合が特に高い。

【市民の間 8、中学生の間 6、企業従業員の問 5】

○市の取組の重要度が特に高い「公共交通の充実」について、市民の満足度、改善度ともに低い。 【市民の間 10】

○綾部市のまちづくりに対する意見・提案としても、道路・交通に関する内容の意見が多い。 【市民の間 13】

○中学生が市長になったらやってみたいまちづくりとして、道路・交通に関する意見が多い。 【中学生の間 8】

2. まちのにぎわいづくり

★「まちのにぎわい」づくりは、とりわけ若い世代を中心にニーズが高くなっている

○最も魅力ある近隣市・町の主な魅力は、市民、中学生、企業従業員に共通して「まちのにぎわい」の割合が特に高い。また、市民の結果について年齢別でみると、“40歳未満”で「まちのにぎわい」の割合が特に高い。

【市民の間 8、中学生の間 6、企業従業員の問 5】

○綾部市がどのようなまちになると良いかについて、中学生、企業従業員では「商業が盛んで、買い物に便利な、にぎわいのあるまち」の割合が特に高い。 【中学生の間 7、企業従業員の問 9】

○中学生が市長になったらやってみたいまちづくりとして、商業・観光やイベントなどの楽しめるまちづくりに関する意見が多い。

【中学生の間 8】

3. 医療体制の充実

★医療の充実は、子どもから高齢者まで安心して暮らすために重要な要素である一方、関連する取組に対する市民の評価が低い実態

○市の取組の重要度が特に高い「医療体制の充実」について、市民の満足度、改善度ともに低い。 【市民の間 10】

○綾部市がどのようなまちになると良いかについて、市民では「医療や保健サービスが充実した健康のまち」の割合が特に高い。【市民の間 12】

4. 社会保障の充実

★ひとり親を中心とした貧困家庭の増加、子どもへの貧困の連鎖などが社会問題となっている中で、関連する取組に対する市民の評価が低い実態

○市の取組の重要度が特に高い「社会保障の適正運営」について、市民の満足度、改善度ともに低い。 【市民の間 10】

5. 多様な就業
の場の確保

★就業の場については人口減少対策としても重要と考えられている一方で、市民に綾部市のものづくりのまちとしてのイメージが根付いておらず、「地元雇用の確保」の取組に対する市民の満足度、改善度ともに低い実態

- 綾部市に対するイメージについて、市民、中学生と比べて企業従業員では「ものづくりのまち」の割合が特に高い。【※再掲
【市民の間 1、中学生の間 1、企業従業員の問 2】
- 中学生の綾部市に住みたくない理由は、「綾部市にはない、いろいろな職業の中から自分の道を選びたいから」の割合が 2 番目に高い。
【中学生の間 4-2】
- 市の取組の重要度が特に高い「地元雇用の確保」について、市民の満足度、改善度ともに低い。【市民の間 10】
- 綾部市の人口減少対策を進める際の方向性として、市民、企業従業員に共通して「若者等の雇用の場の確保を進める」の割合が最も高い。
【市民の間 11、企業従業員の問 8】
- 綾部市のまちづくりに対する意見・提案としても、産業・雇用に関する内容の意見が多い。【市民の間 13】

6. 若い世代を
中心とした郷土
愛の醸成

★愛着度は世代ごとに一定の水準が保たれている一方で、若い世代ほど綾部市に愛着を感じる割合が低く、定住意向の割合も低い実態。一方、若い世代ほど綾部市独自の取組を認識していない実態もみられる

- 綾部市の魅力について、「世界連邦都市宣言関連の取組（中東和平プロジェクト 等）」「水源の里の取組（地域の特産品開発、イベント開催 等）」は、中学生で「知らない」の割合が最も高い。また、「水源の里の取組」の市民の結果について年齢別でも、年齢が低いほど「知らない」の割合が高い。【市民の間 2、中学生の間 2】
- 綾部市に愛着を感じるかは、「愛着を感じている」割合は 5 割を超えているものの、市民と比較して中学生で割合が低い。また、市民の結果について年齢別でも、年齢が低いほど「愛着を感じている」の割合が低い。【市民の間 4、中学生の間 3】
- 綾部市に将来も住み続けたいかは、市民と比較して中学生で「市外に引っ越したい」「わからない」の割合が高い。また、市民の結果について年齢別でも、年齢が低いほど「市外に引っ越したい」「わからない」の割合が高い。【市民の間 5、中学生の間 4】

7. 地域における
支え合いの推
進

★今後、人口減少のさらなる進展が想定される中で、『人口減少抑制』の取組だけでなく、人口が減少しても地域で支えあうことのできる仕組みづくりといった、『人口減少適応』の視点の取組も求められている

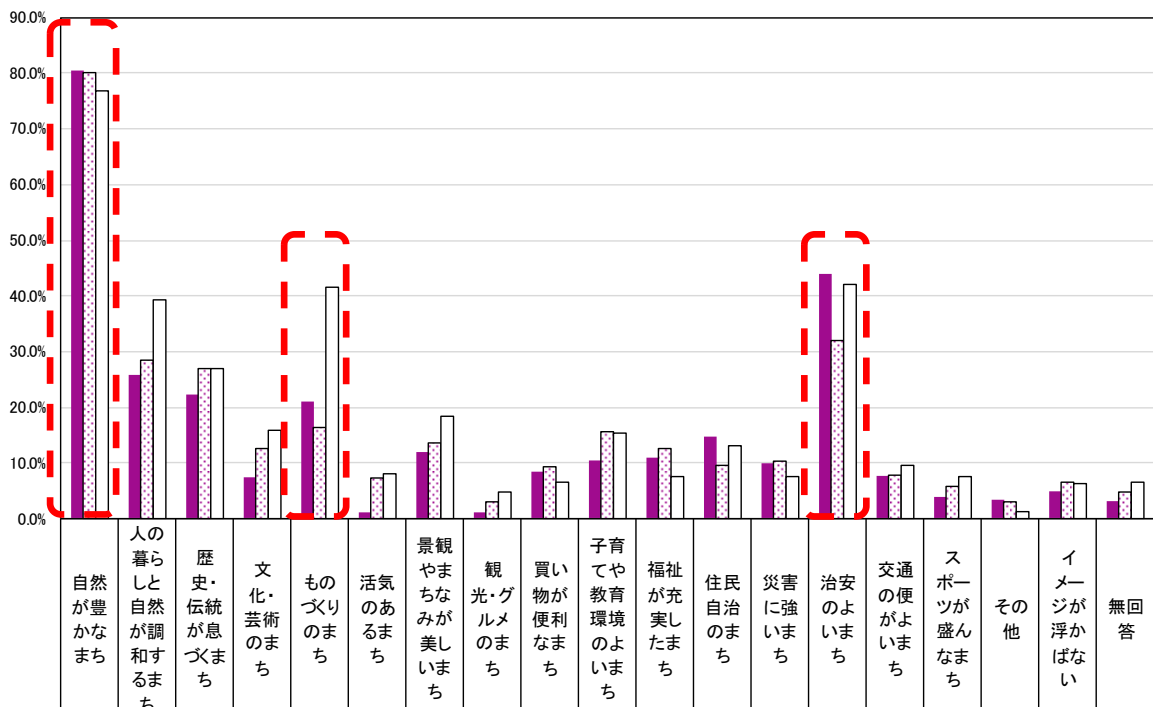
- 綾部市の人口減少対策を進める際の方向性として、市民では「人口減少は止められないと思うが、人口が少なくても地域住民が互いに支え合える仕組みをつくる」の割合が 3 番目に高い。【市民の間 11】

III 全体の調査結果概要

1. 綾部市のイメージ等について

1 綾部市に対するイメージ（MA）

- 市民、中学生、企業従業員で共通して「自然が豊かなまち」が最も割合が高く、次いで「治安のよいまち」が高くなっています。
- 「ものづくりのまち」については、企業従業員では41.5%と3番目に割合が高くなっている一方で、市民では21.0%、中学生では16.2%となっています。



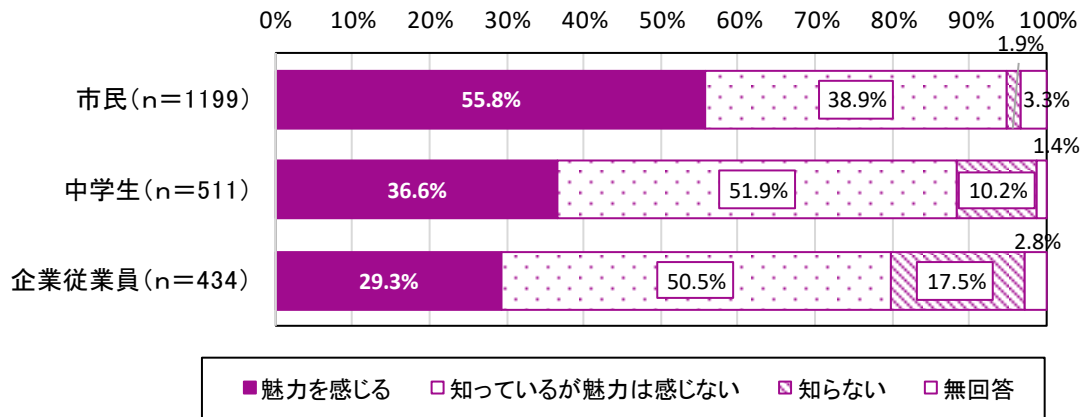
2 綾部市の施設、名所、特産品、イベント等の魅力（SA）

- 「9. イベント（水無月まつり 等）」については、市民、中学生、企業従業員で共通して「魅力を感じる」の割合が最も高くなっています。
- 「1. あやベグンゼスクエア」「4. 古民家を改装した食事処・菓子屋」「5. 寺社等」については、市民で「魅力を感じる」の割合が最も高い一方で、中学生、企業従業員では「知っているが魅力を感じない」「知らない」の割合が最も高くなっています。
- 「2. 綾部ふれあい牧場」「6. 天文館パオ」「13. 図書館」「15. 黒谷和紙と関連施設」については、中学生で「魅力を感じる」の割合が最も高い一方で、市民、企業従業員では「知っているが魅力を感じない」「知らない」の割合が最も高くなっています。

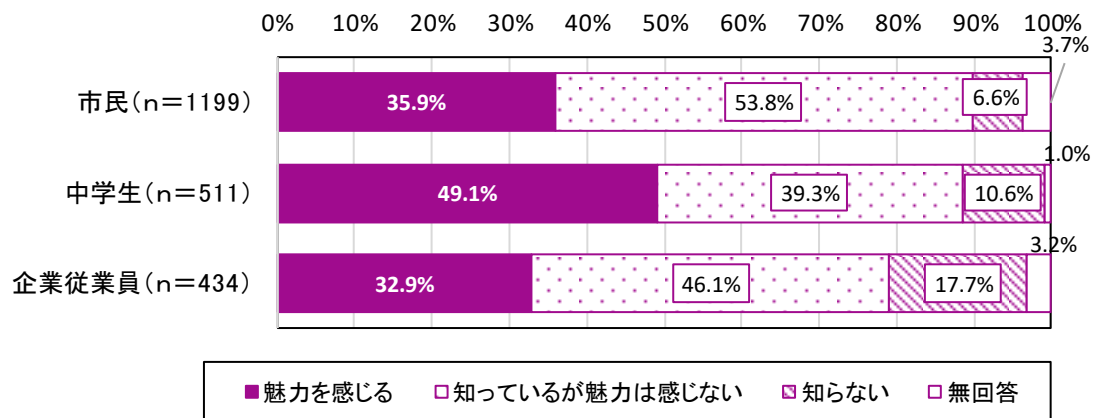
	市民			中学生			企業従業員		
	魅力を感じる	知っているが魅力を感じない	知らない	魅力を感じる	知っているが魅力を感じない	知らない	魅力を感じる	知っているが魅力を感じない	知らない
1. あやベグンゼスクエア	●				●			●	
2. 綾部ふれあい牧場		●		●				●	
3. 綾部市資料館		●			●				●
4. 古民家を改装した食事処・菓子屋	●					●			●
5. 寺社等	●				●			●	
6. 天文館パオ		●		●				●	
7. 農家民宿		●				●			●
8. あやベ温泉	●			●				●	
9. イベント（水無月まつり 等）	●			●			●		
10. スポーツイベント		●			●				●
11. 紫水ヶ丘公園		●			●				●
12. 上杉総合運動公園		●			●			●	
13. 図書館		●		●					●
14. 児童館など子ども関連の施設		●			●				●
15. 黒谷和紙と関連施設		●		●				●	
16. 食関連の特産品（丹波くり 等）	●			●					●
17. 世界連邦都市宣言関連の取組		●				●			●
18. 水源の里の取組		●				●			●
19. 里山ねっと・あやベ		●			●				●
20. FMいかる		●			●				●

※それぞれ回答の割合が最も高い選択肢を「●」で示している

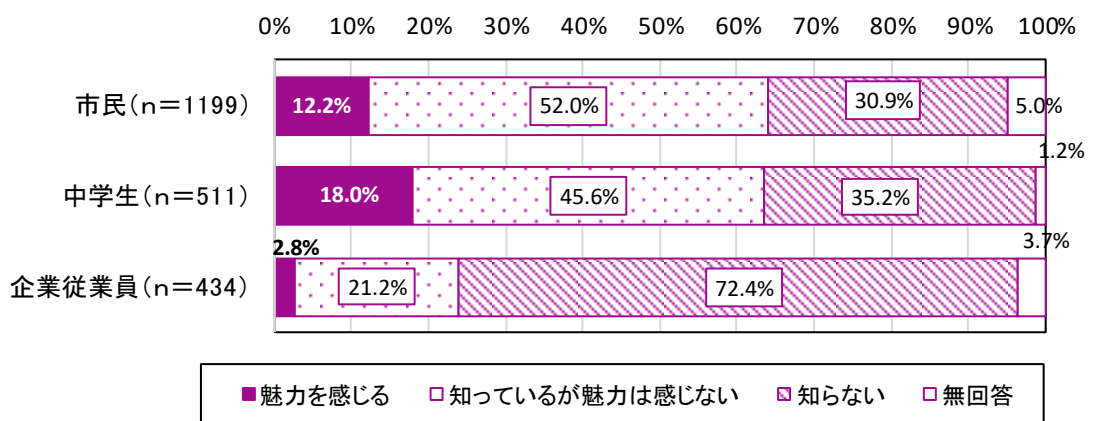
【1. あやベグンゼスクエア（あやべ特産館 等）】



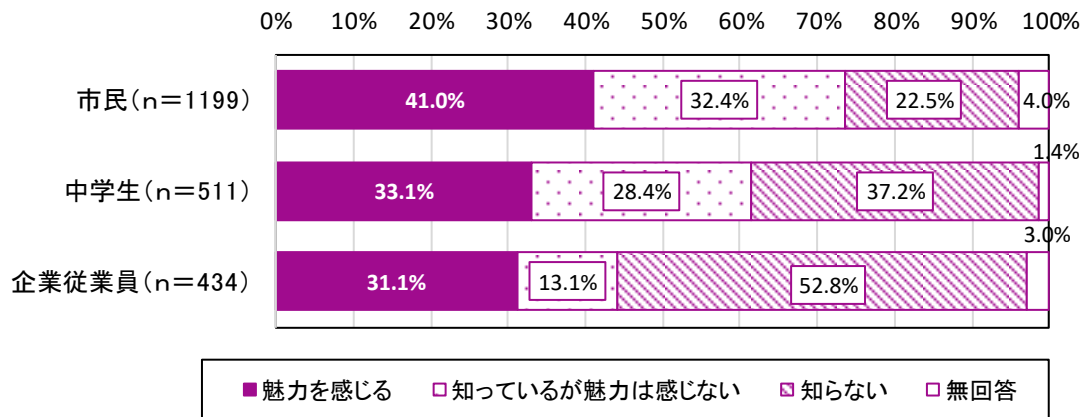
【2. 綾部ふれあい牧場】



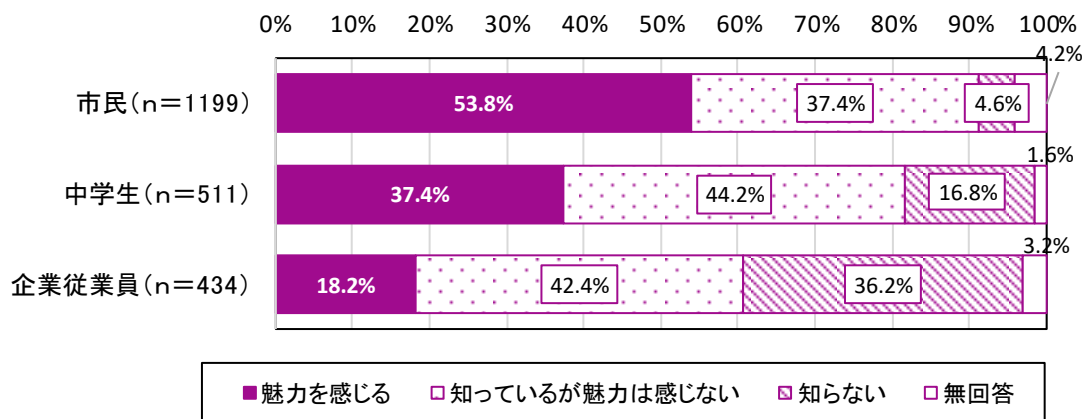
【3. 綾部市資料館】



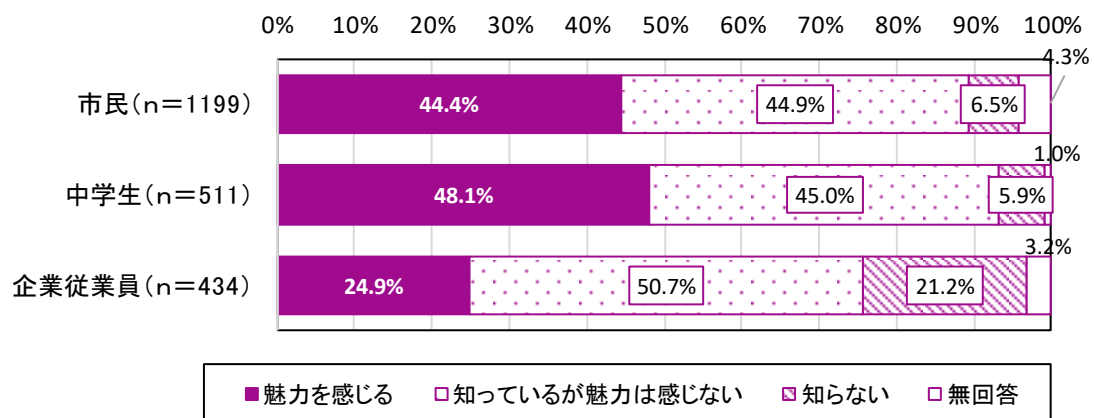
【4. 古民家を改装した食事処・菓子屋】



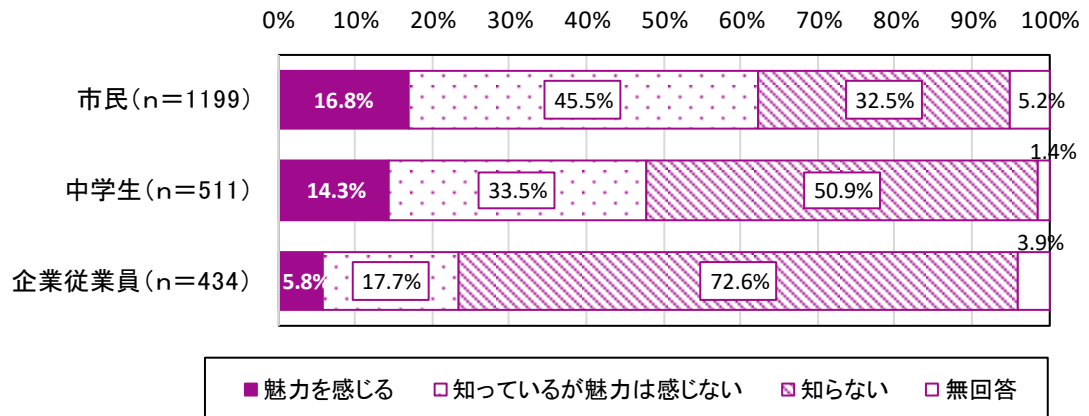
【5. 寺社等（国宝光明寺二王門、大本、安国寺 等）】



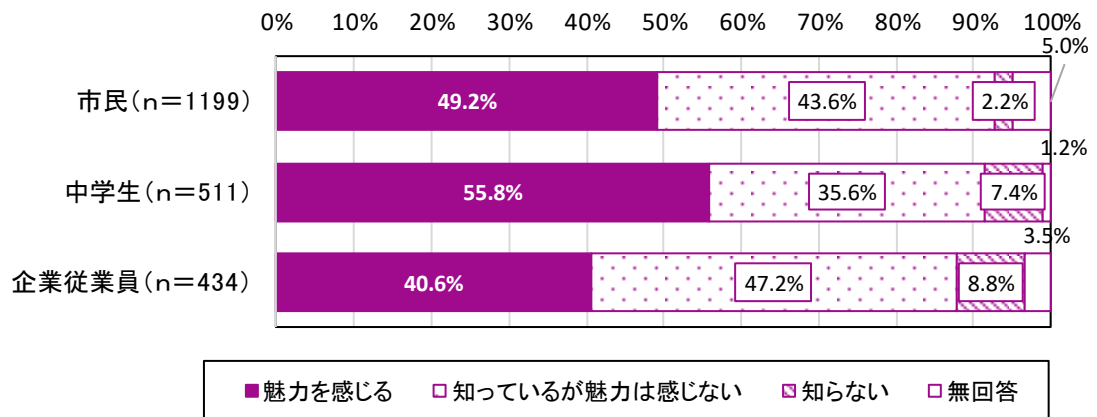
【6. 天文館パオ】



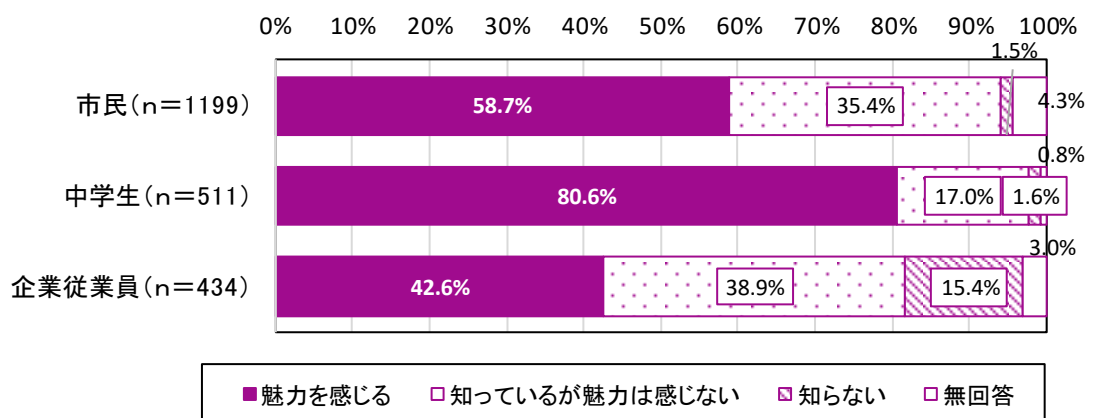
【7. 農家民宿】



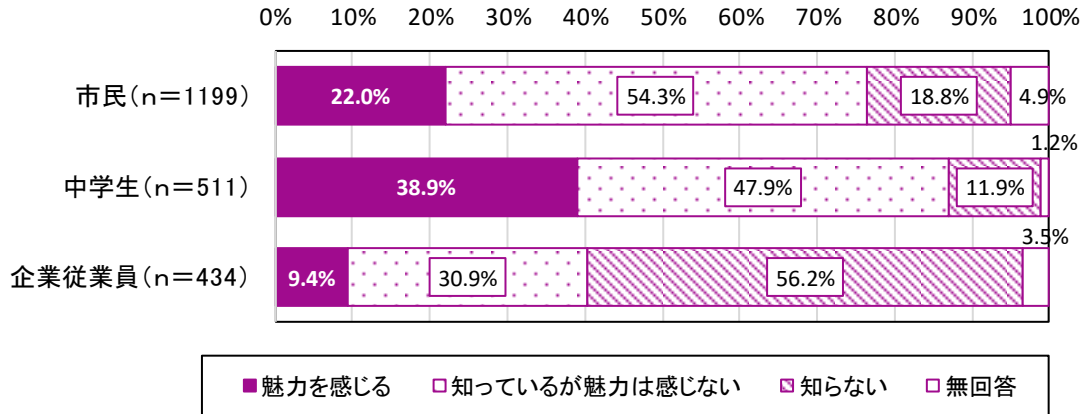
【8. あやべ温泉】



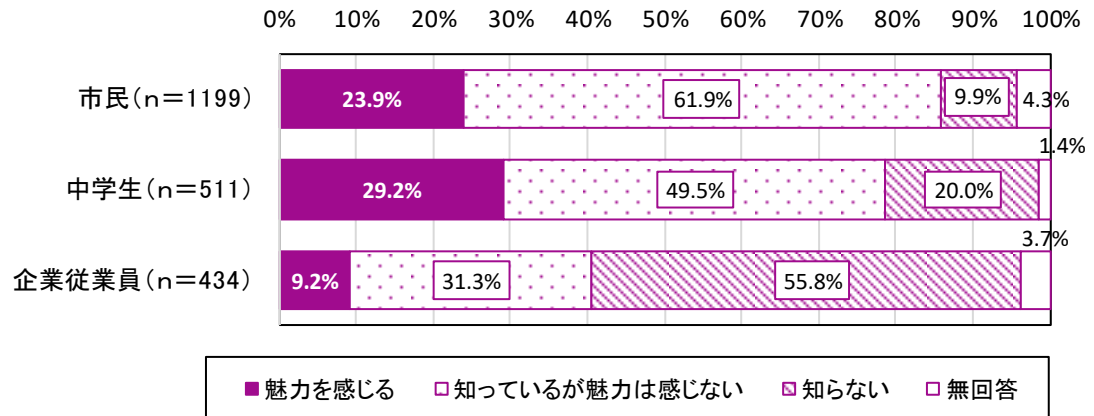
【9. イベント（水無月まつり、丹の国まつり 等）】



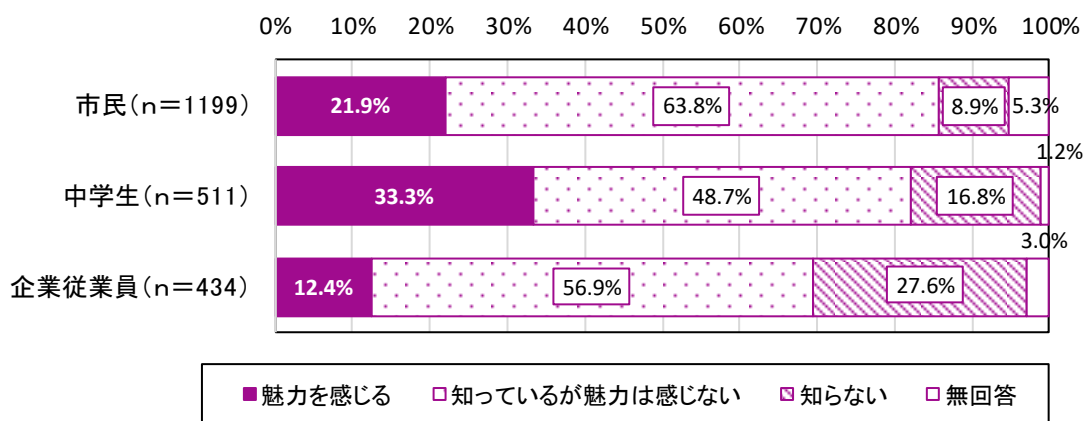
【10. スポーツイベント（TANTAN ロングライド 等）】



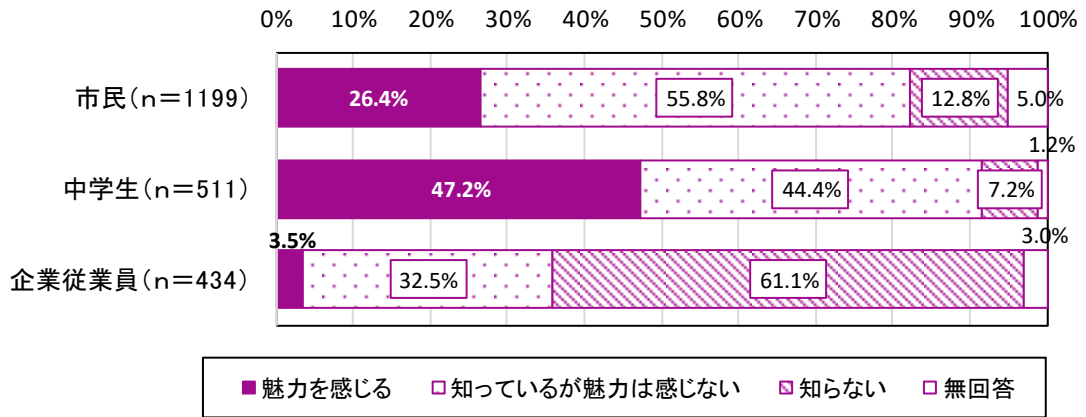
【11. 紫水ヶ丘公園】



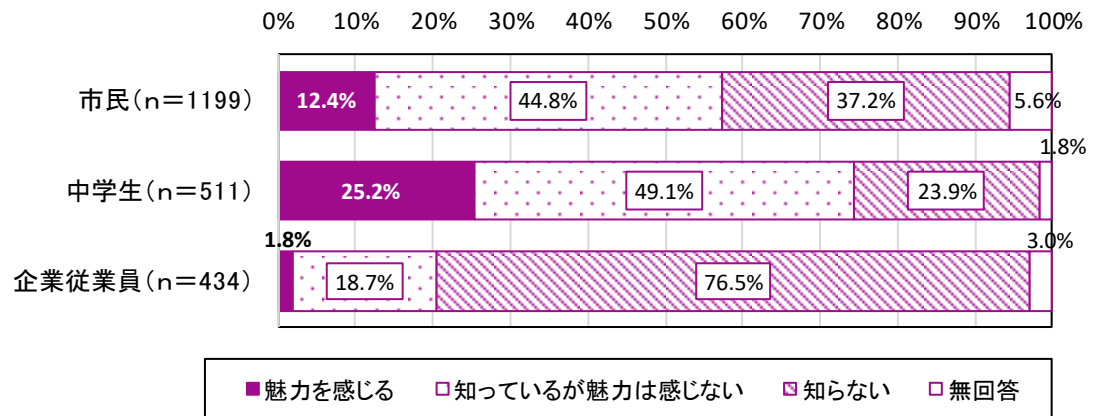
【12. 上杉総合運動公園】



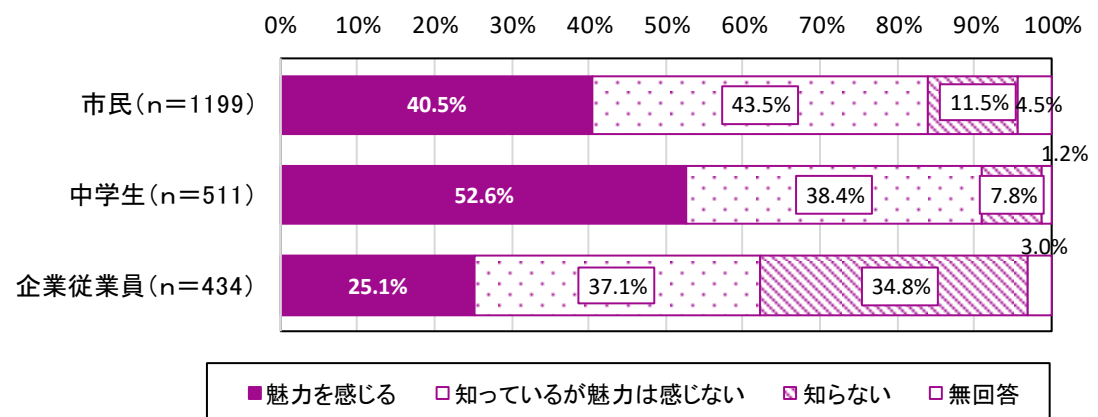
【13. 図書館】



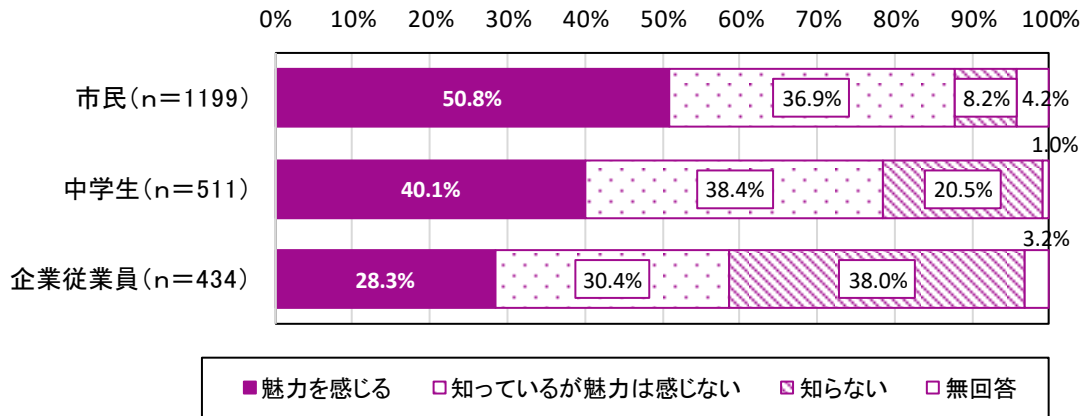
【14. 児童館など子ども関連の施設】



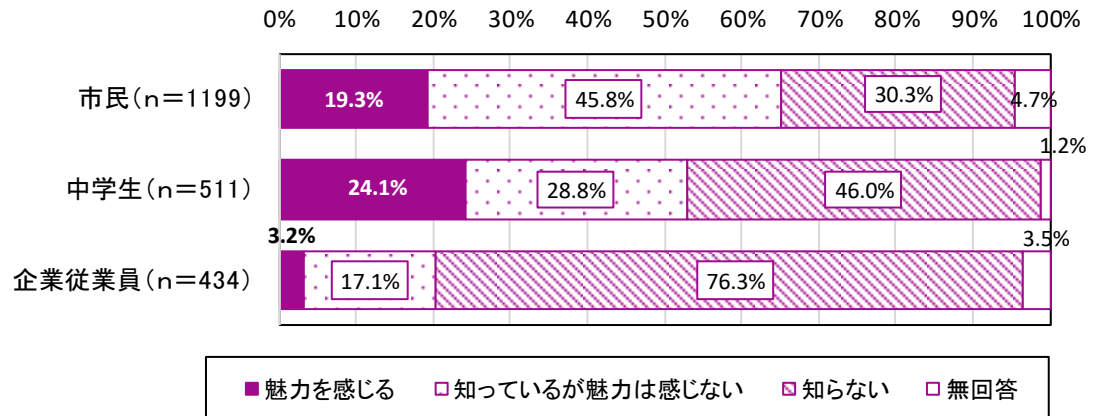
【15. 黒谷和紙と関連施設（黒谷和紙工芸の里 等）】



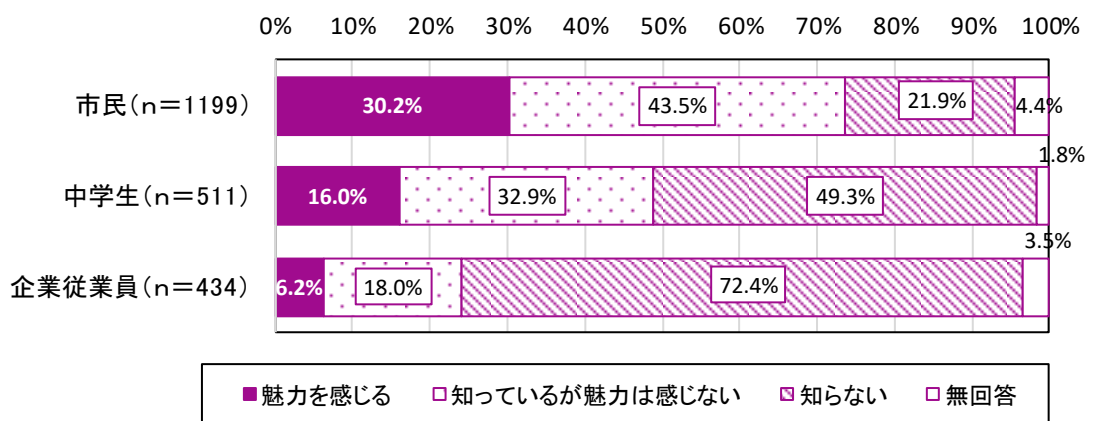
【16. 食関連の特産品（丹波くり、丹波マツタケ、アユ、米 等）】



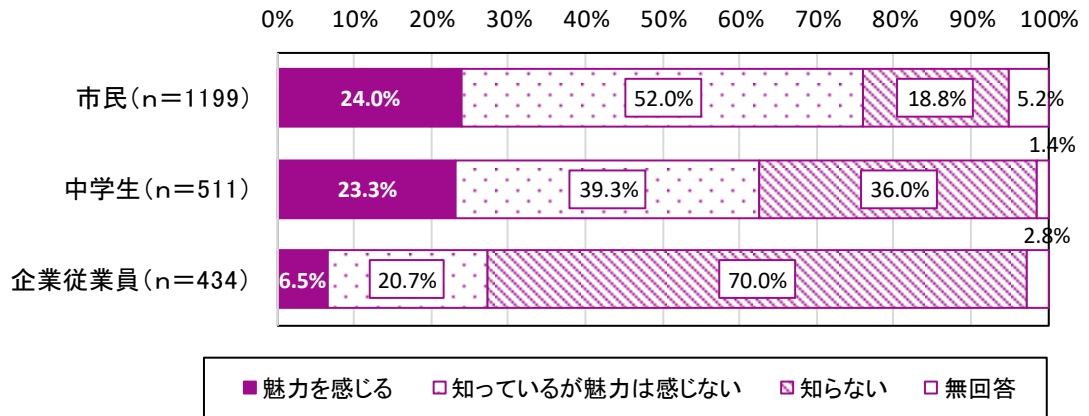
【17. 世界連邦都市宣言関連の取組（中東和平プロジェクト 等）】



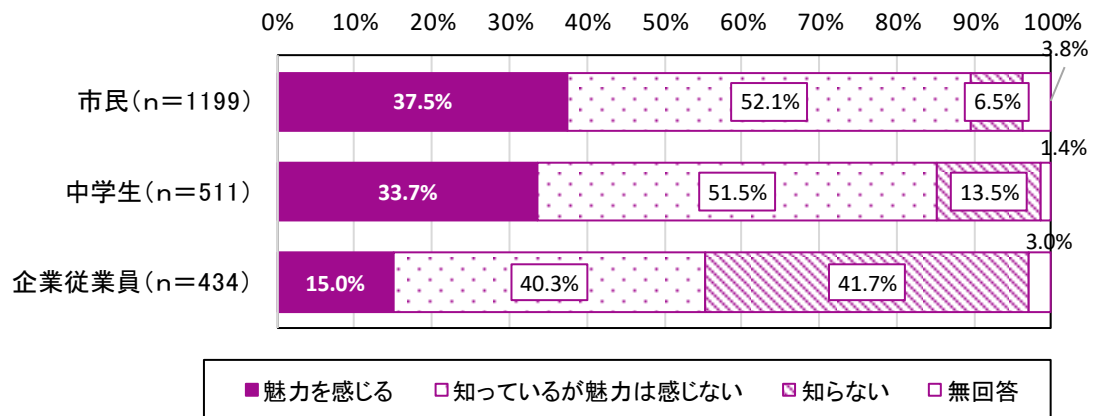
【18. 水源の里の取組（地域の特産品開発、イベント開催 等）】



【19. 里山ねっと・あやべ】

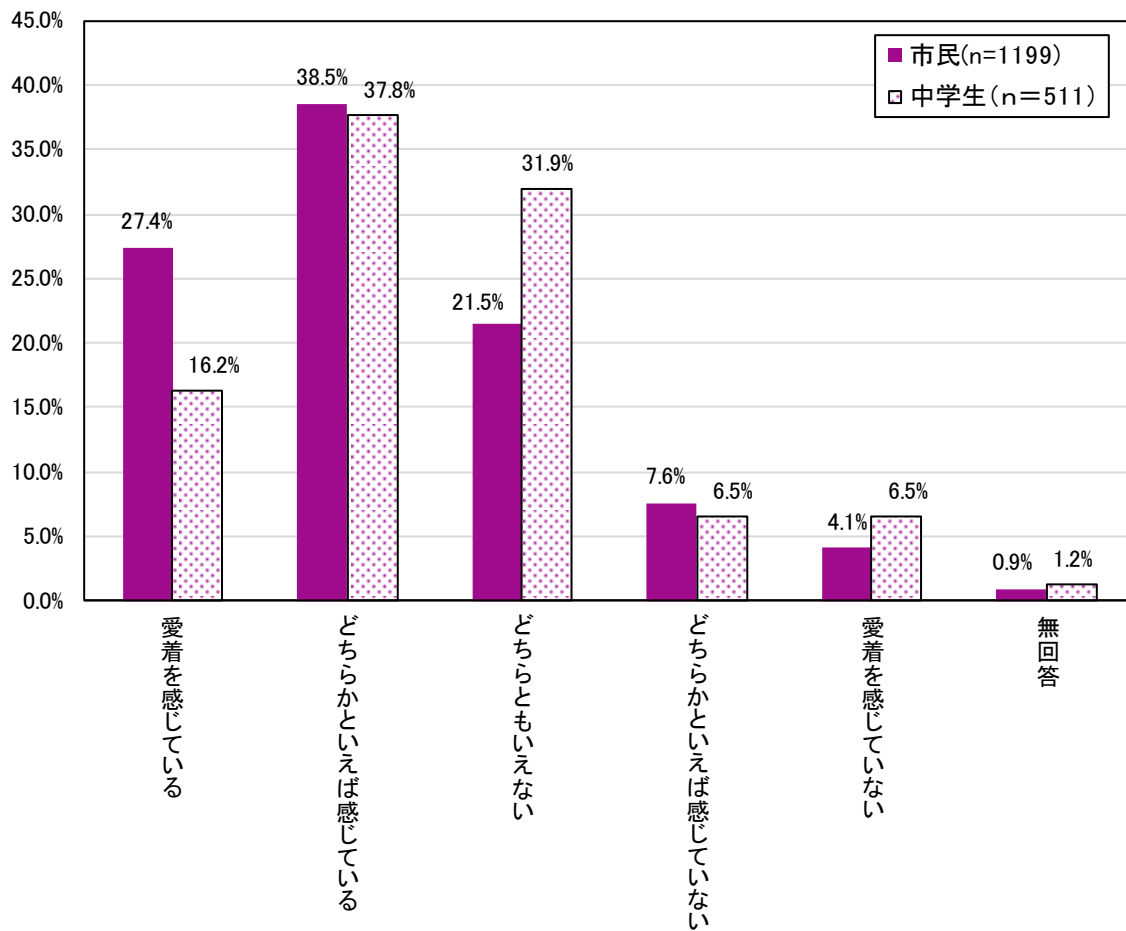


【20. FM いかる】



3 綾部市に愛着を感じるか（SA）

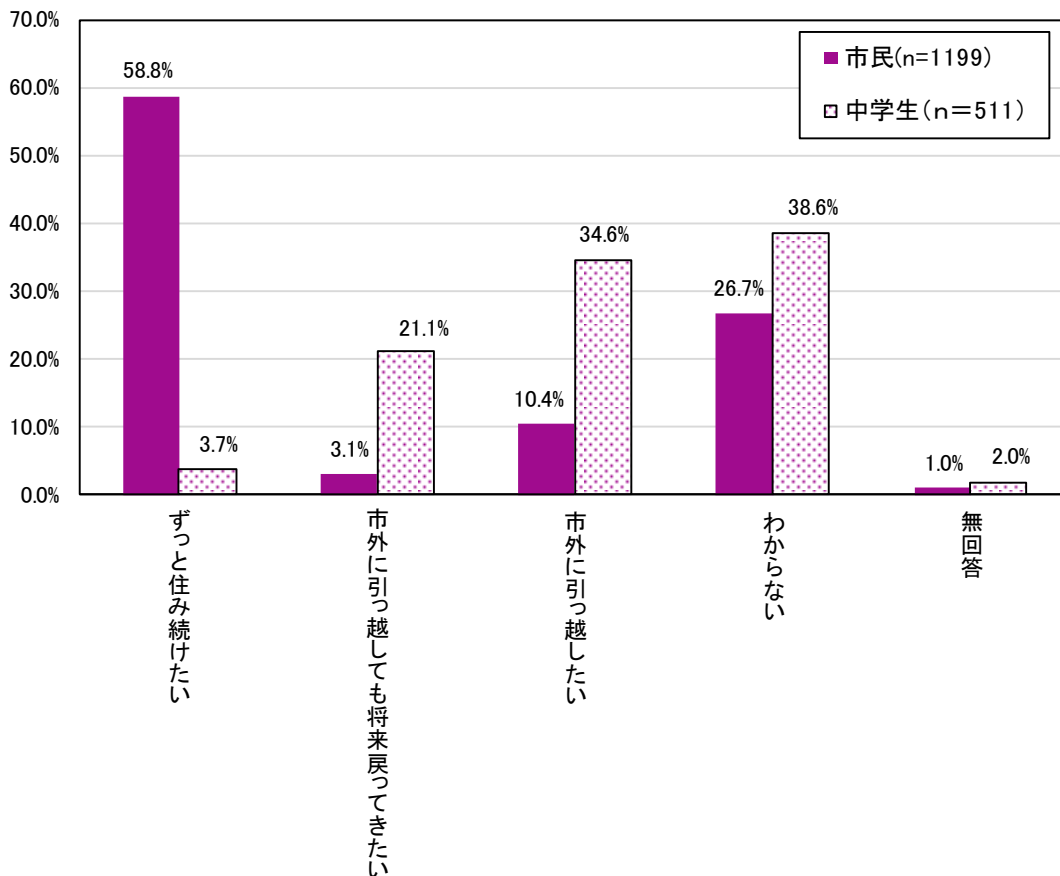
○「愛着を感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた『愛着を感じている』の割合は、市民で65.9%、中学生で54.0%と、いずれも過半数を超えています。



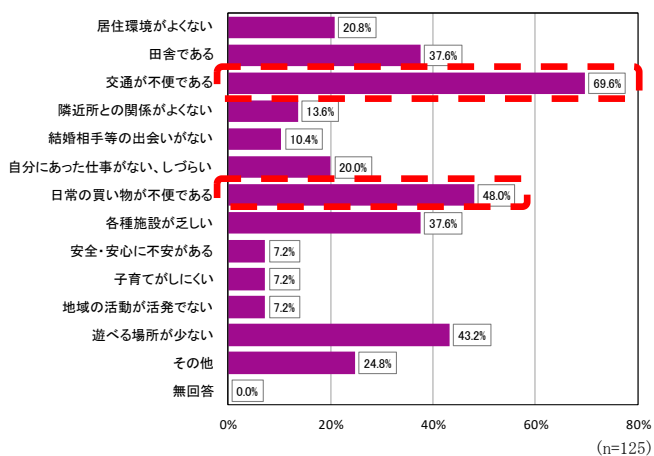
4 綾部市に住み続けたいか（SA）

○市民と比較して、中学生は「ずっと住み続けたい」割合が低く、「市外に引っ越したい」割合が高くなっています。

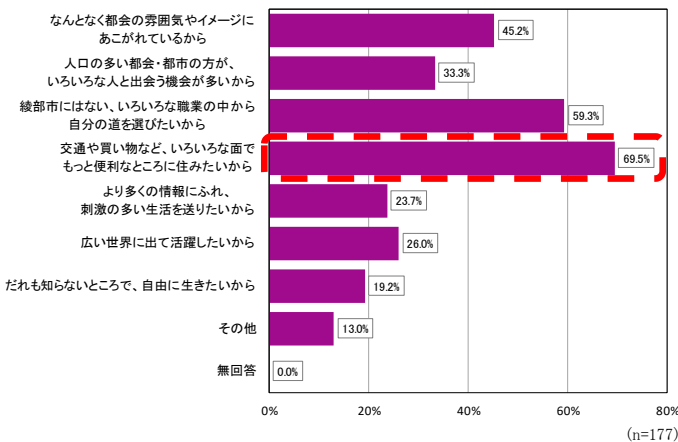
○住みたくない理由としては、市民・中学生に共通して“交通や買い物などの生活の不便さ”の割合が高くなっています。



<住みたくない理由（市民）>



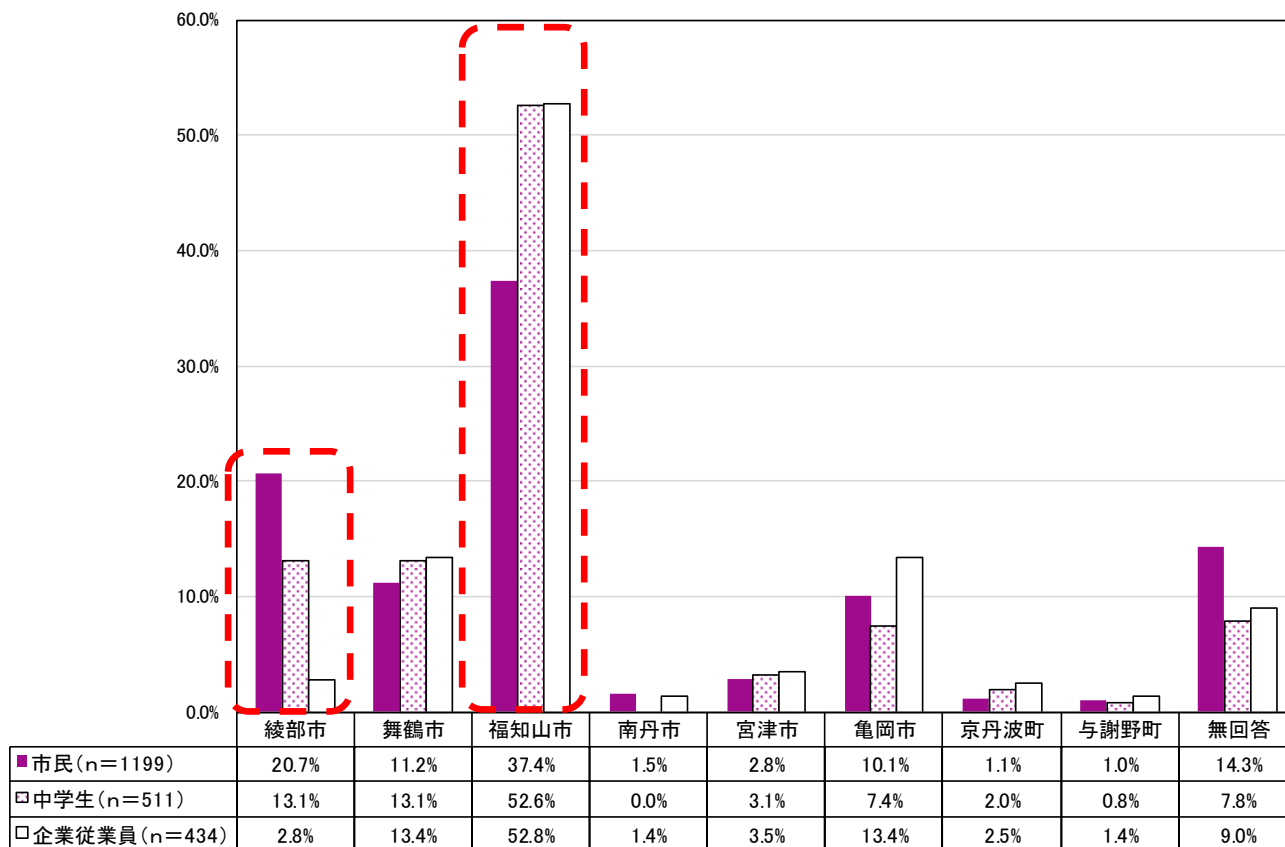
<住みたくない理由（中学生）>



5 最も魅力のある近隣市・町（SA）

○市民、中学生、企業従業員で共通して「福知山市」の割合が高くなっています。

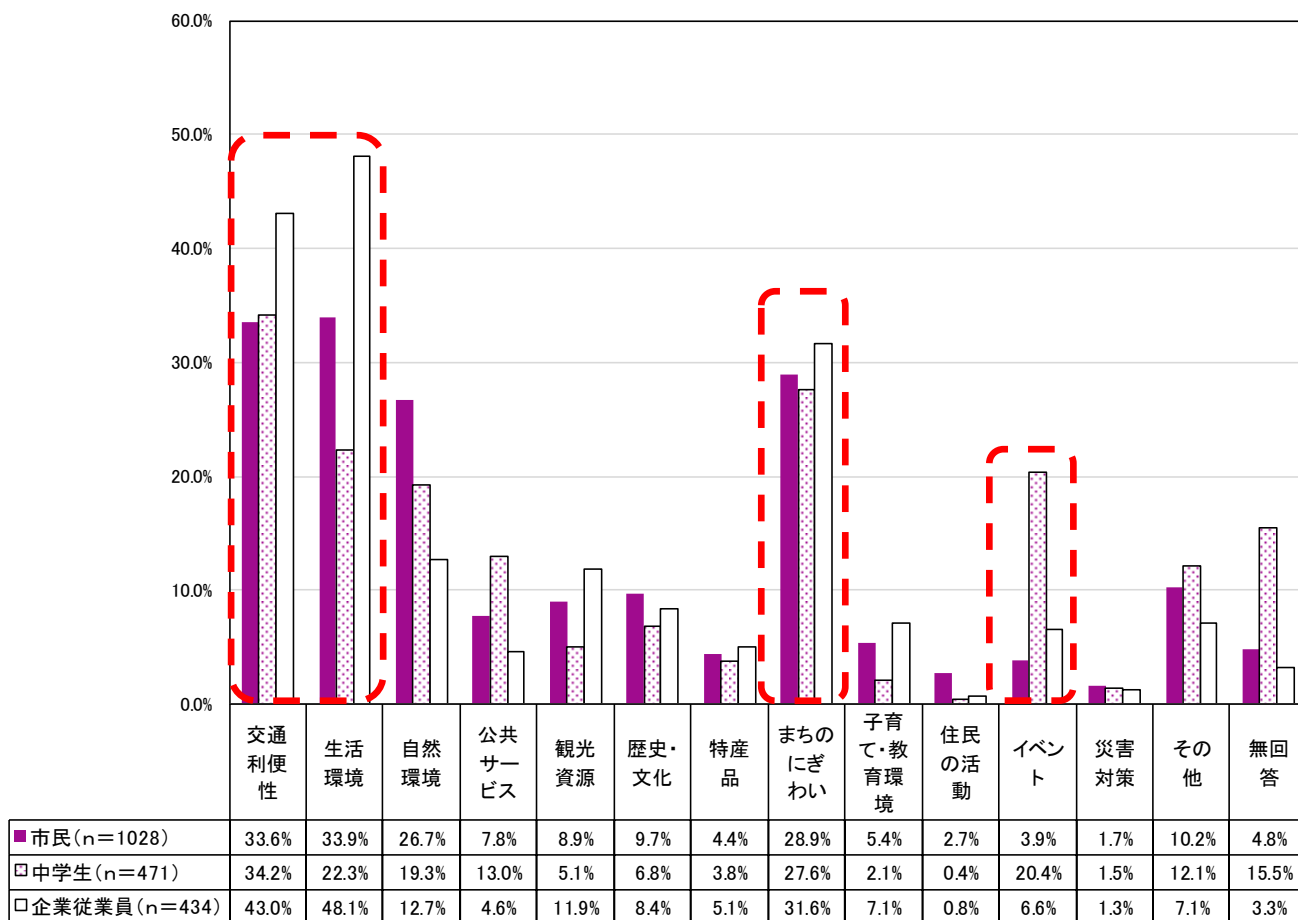
○市民では「綾部市」、中学生では「綾部市」「舞鶴市」の割合がそれぞれ2番目に高くなっています。



6 最も魅力ある近隣市・町の主な魅力（MA）

○「交通利便性」「生活環境」「まちのにぎわい」が市民、中学生、企業従業員で共通して割合が高くなっています。

○中学生では「イベント」の割合が市民、企業従業員と比較して高くなっています。

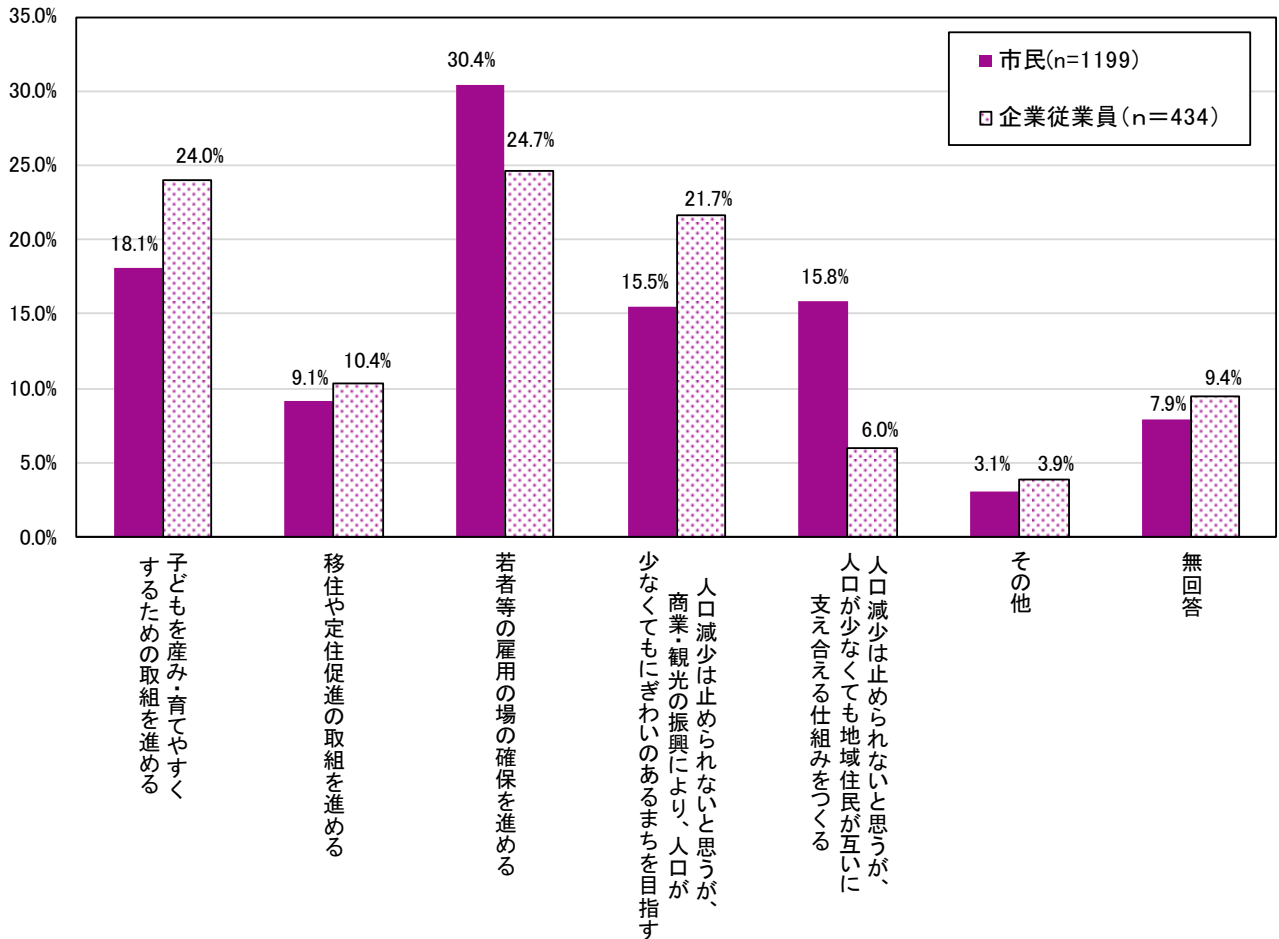


2. 綾部市のまちづくりについて

1 綾部市の人口減少対策を進める際の方向性（SA）

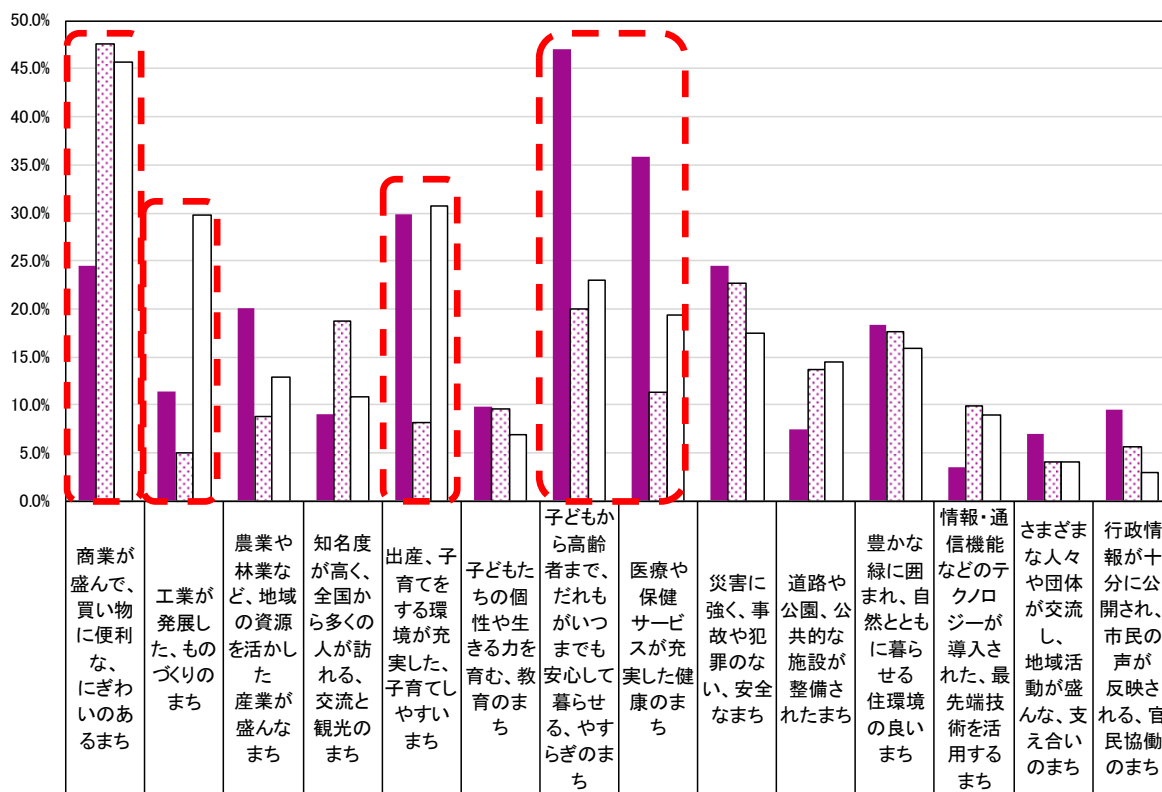
○市民、企業従業員に共通して「若者等の雇用の場の確保を進める」の割合が最も高く、次いで「子どもを産み・育てやすくするための取組を進める」割合が高くなっています。

○市民では、企業従業員と比較して、「人口減少は止められないと思うが、人口が少なくても地域住民が互いに支え合える仕組みをつくる」の割合が高くなっています。



2 綾部市がどのようなまちになると良いか（MA）

- 「商業が盛んで、買い物に便利な、にぎわいのあるまち」については、市民と比較して、中学生、企業従業員で特に割合が高くなっています。
- 「工業が発展した、ものづくりのまち」については、市民、中学生と比較して、企業従業員で特に割合が高くなっています。
- 「出産・子育てをする環境が充実した、子育てしやすいまち」については、中学生と比較して、市民、企業従業員で特に割合が高くなっています。
- 「子どもから高齢者まで、だれもがいつまでも安心して暮らせる、やすらぎのまち」「医療や保健サービスが充実した健康のまち」については、中学生、企業従業員と比較して、市民で特に割合が高くなっています。



■市民 (n=1199)	24.5%	11.3%	20.1%	9.0%	29.9%	9.8%	47.0%	35.8%	24.5%	7.4%	18.3%	3.5%	6.9%	9.6%
□中学生 (n=511)	47.6%	5.1%	8.8%	18.8%	8.2%	9.6%	20.0%	11.4%	22.7%	13.7%	17.6%	10.0%	4.1%	5.7%
□企業従業員 (n=434)	45.6%	29.7%	12.9%	10.8%	30.6%	6.9%	23.0%	19.4%	17.5%	14.5%	15.9%	9.0%	4.1%	3.0%

3. 市の取組の満足度・改善度・重要度の分析

【分析方法】

◇ここでは市民意識調査の問 10「まちづくりの満足度・改善度・重要度」の集計結果について点数化し、分析を行います。

<点数化の手法>

満足度	改善度	重要度	点数化	処 理
不満	改善されていない	重要でない	0点	満足度、改善度、重要度それぞれ、合計点数を対象サンプル数で除して平均値を算出 ※その際無回答は除外
やや不満	あまり改善されていない	あまり重要でない	25点	
どちらともいえない			50点	
やや満足	やや改善された	やや重要	75点	
満足	改善された	重要	100点	
無回答			除外	

【計算例（満足度）】

<回答結果>

不満	10 サンプル
やや不満	20
どちらともいえない	50
やや満足	30
満足	15
無回答	10
回答対象者	135

<計算式>

$$\frac{【(10 \times 0) + (20 \times 25) + (50 \times 50) + (30 \times 75) + (15 \times 100)】}{(135 - 10)}$$

$$= 54.0$$

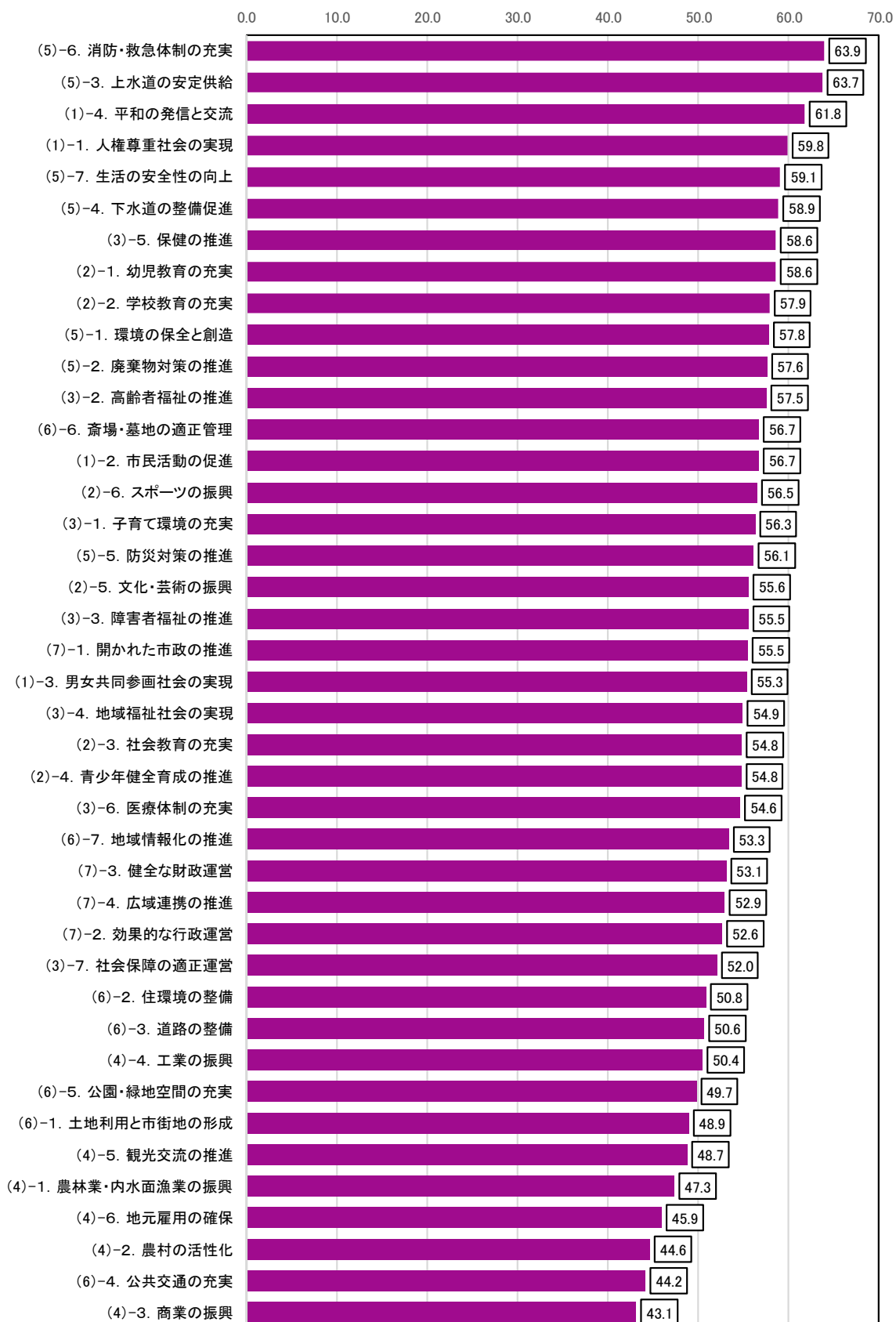
※小数点第2位を四捨五入して算出・表示

1 取組の満足度・改善度・重要度の点数化

【満足度】

○最も満足度が高い取組は「(5)-6. 消防・救急体制の充実」で63.9となっています。

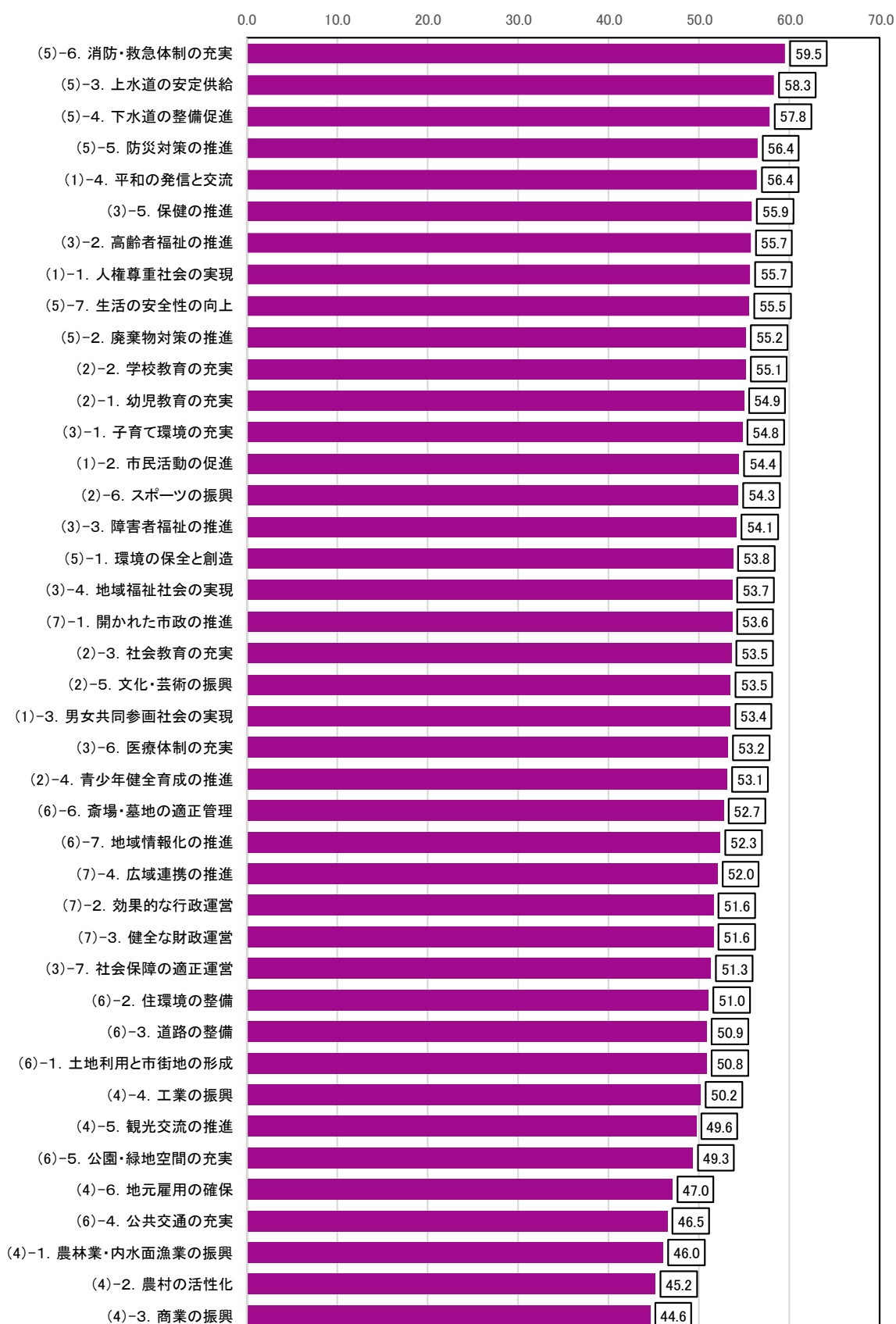
○最も満足度が低い取組は「(4)-3. 商業の振興」で43.1となっています。



【改善度】

○最も改善度が高い取組は満足度と同様に「(5)-6. 消防・救急体制の充実」で59.5となっています。

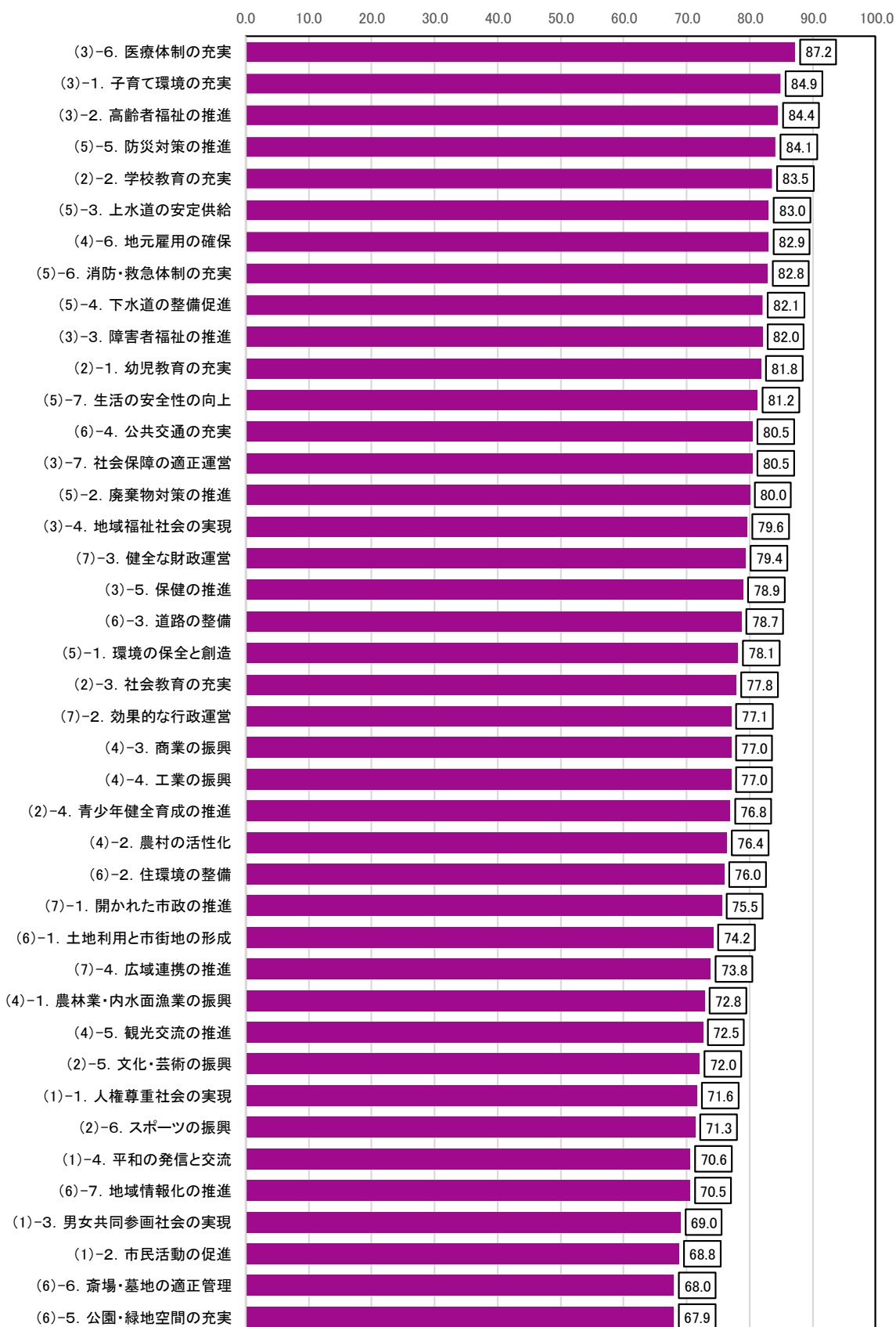
○最も改善度が低い取組も満足度と同様に「(4)-3. 商業の振興」で44.6となっています。



【重要度】

○最も重要度が高い取組は「(3)-6. 医療体制の充実」で87.2となっています。

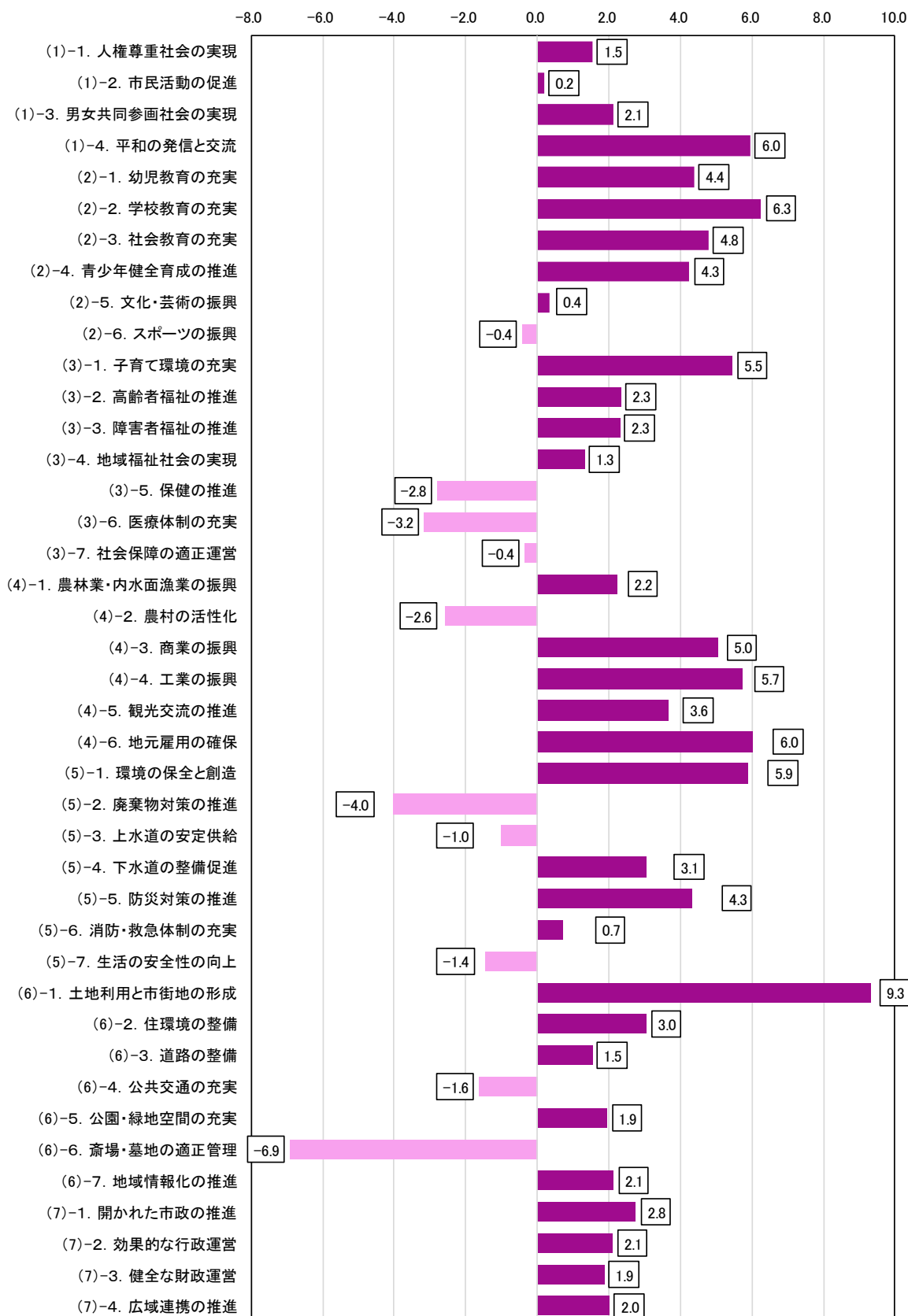
○最も重要度が低い取組は「(6)-5. 公園・緑地空間の充実」で67.9となっています。



2 満足度・重要度の前回調査との比較

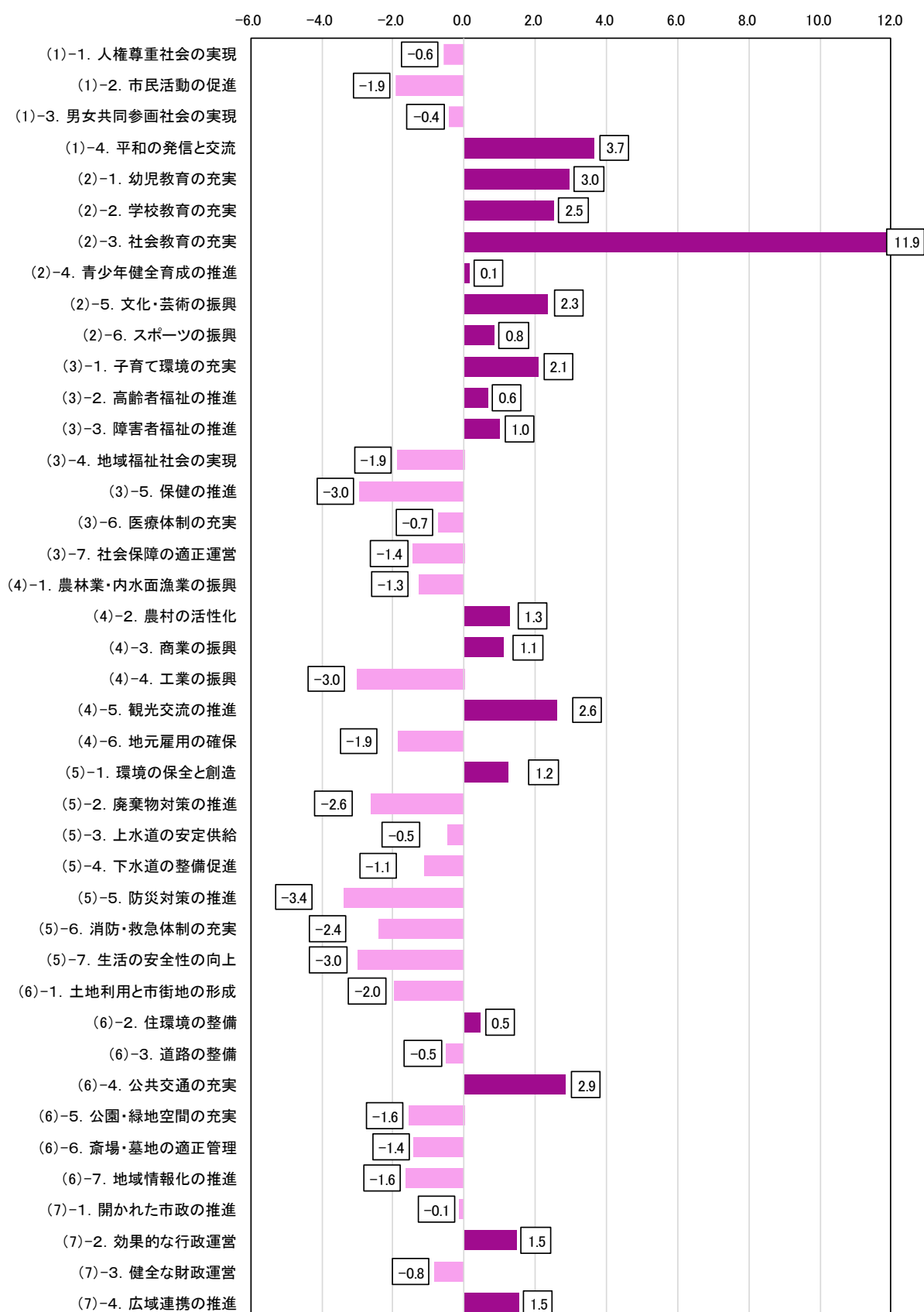
【満足度】

○最も満足度が増加した取組は「(6)-1. 土地利用と市街地の形成」で前回より9.3ポイント増加しています。一方で、最も満足度が低下した取組は「(6)-6. 斎場・墓地の適正管理」で、前回より6.9ポイント低下しています。



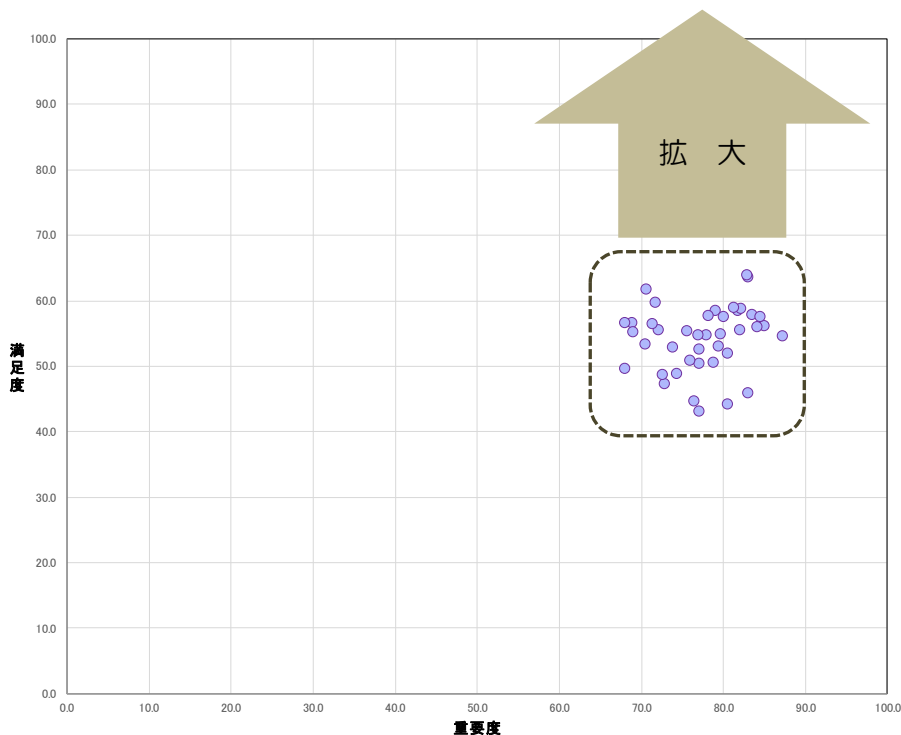
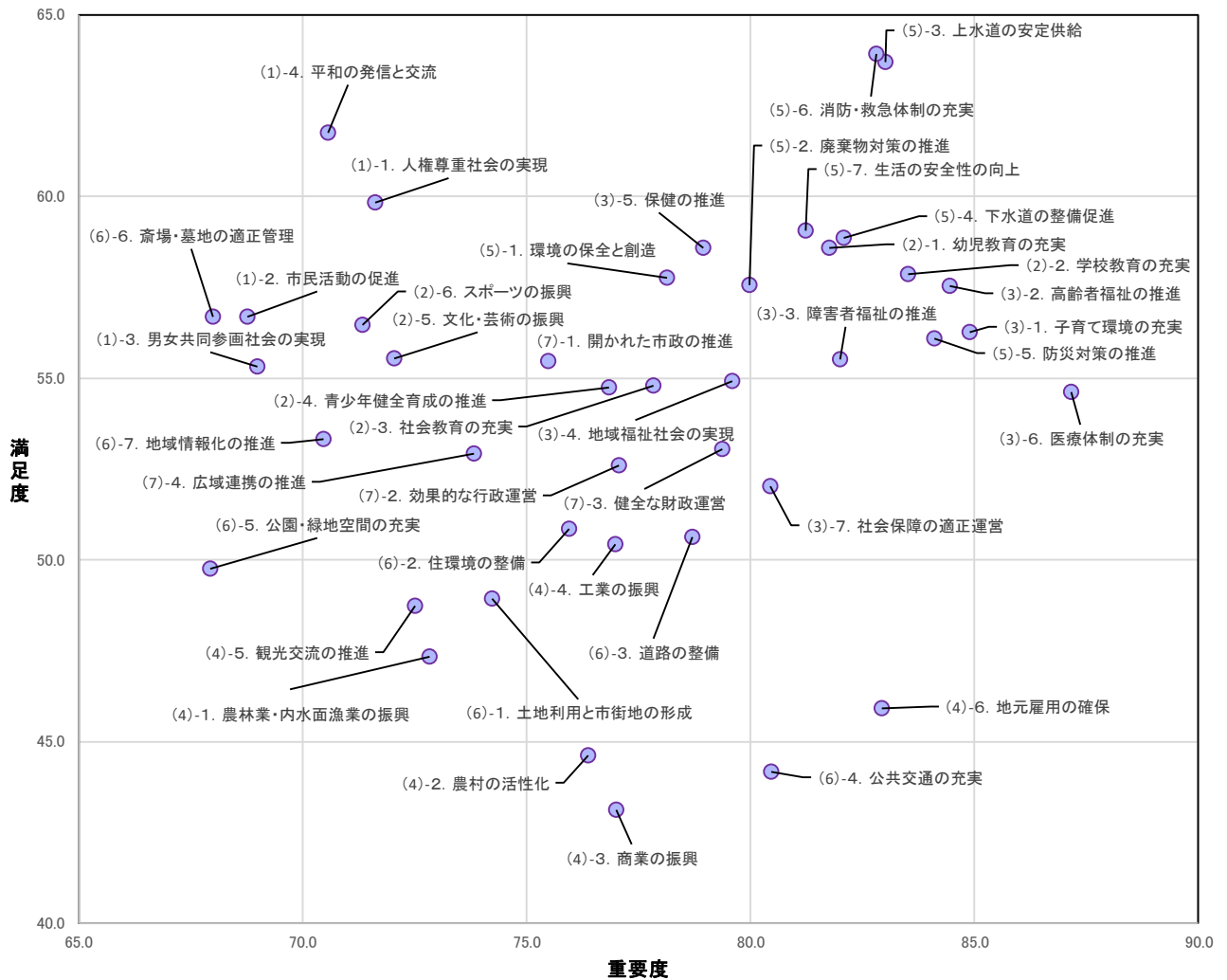
【重要度】

○最も重要度が増加した取組は「(2)-3. 社会教育の充実」で前回より11.9ポイント増加しています。一方で、最も重要度が低下した取組は「(5)-5. 防災対策の推進」で、前回より3.4ポイント低下しています。

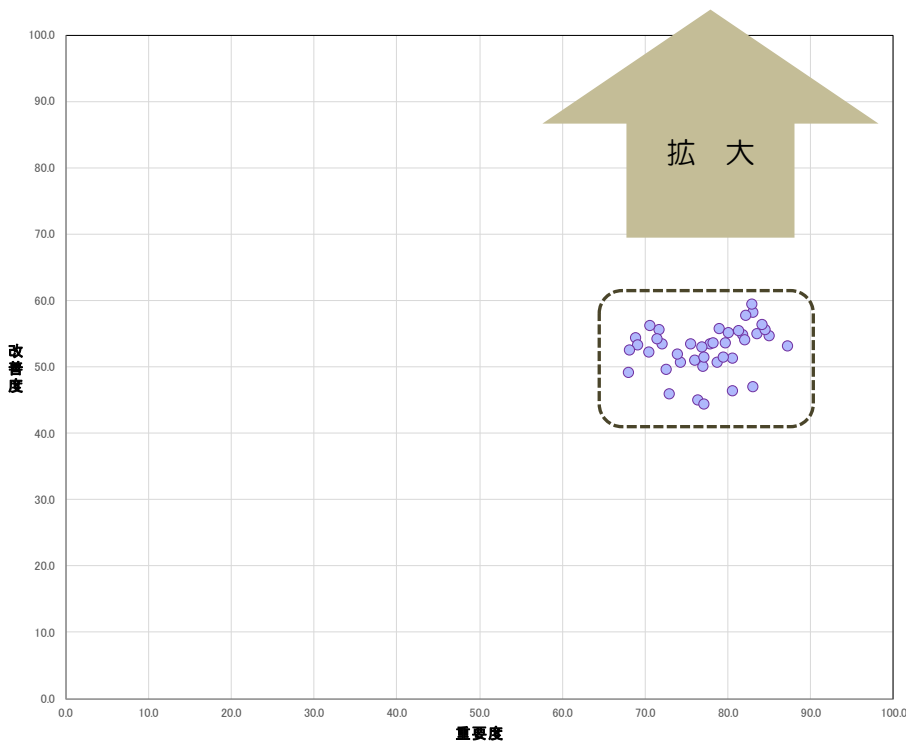
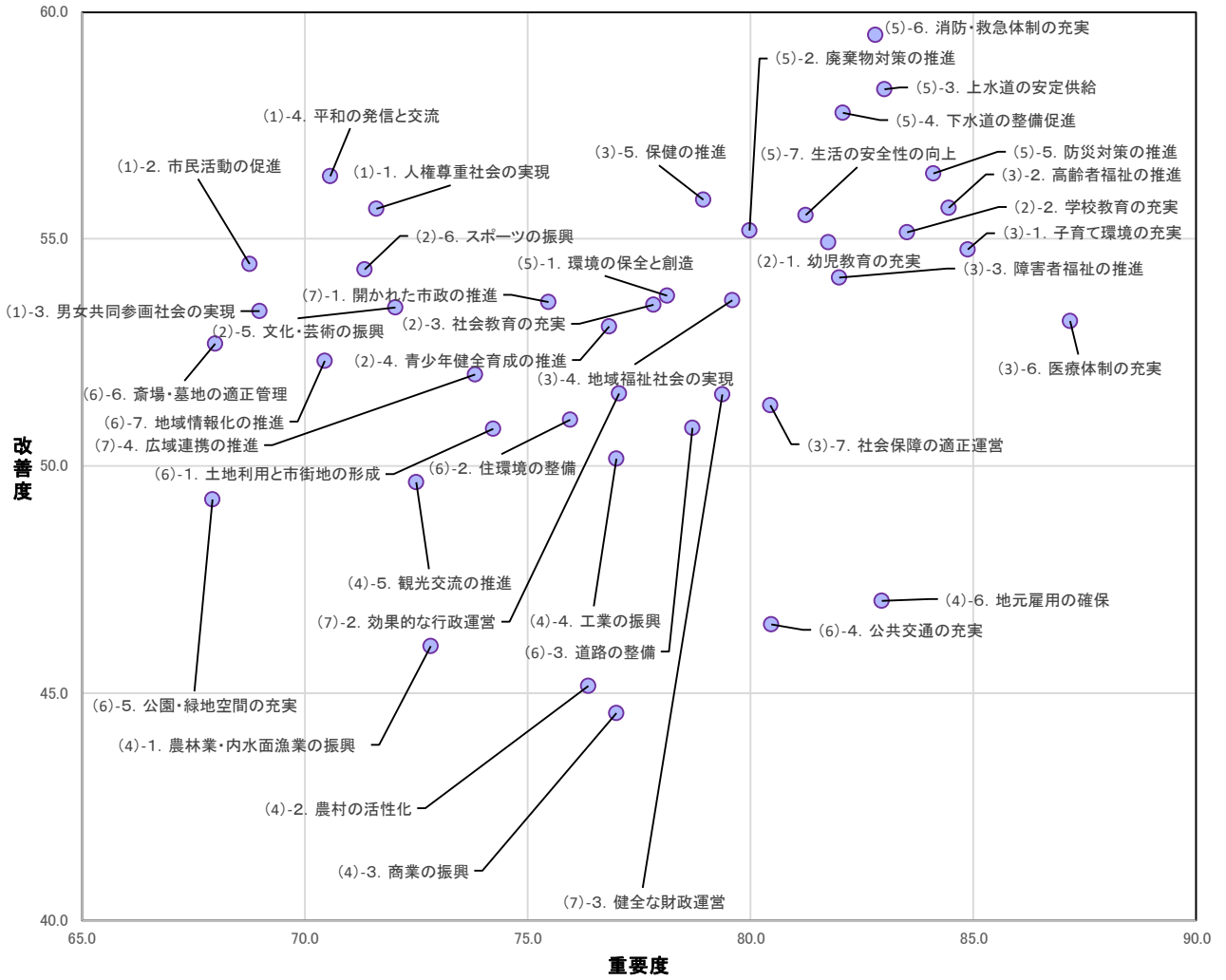


3 満足度・改善度・重要度の関係性の分析

【満足度・重要度の分析】



【改善度・重要度の分析】



IV 個別の調査結果概要

1. 市民意識調査結果

1 調査結果の概要

●綾部市の自然環境や安全・安心な環境は市民の定住意向につながっている

- 綾部市に対するイメージは、「自然が豊かなまち」が80.4%と最も割合が高く、次いで「治安のよいまち」が43.9%となっています。
- 住み続けたい理由として、「長年住み慣れている」が79.0%と最も高く、次いで「自然が豊かである」が58.0%、「安全・安心なまちである」が43.8%となっています。
- 綾部市の良さは、「緑の山々、豊かな水の由良川など山紫水明の絵になる景観があること」が61.5%と最も高く、次いで「空気が澄み渡り、星空がきれいであること」が56.6%となっています。

●住み続けたくない主な要因は「交通」「買い物」の不便さで、利便性を求めて引っ越すことを検討する市民もみられる

- 綾部市に将来も住み続けたいかは、「ずっと住み続けたい」が58.8%と最も割合が高く、次いで「わからない」が26.7%、「市外に引っ越したい」が10.4%となっています。
- 住み続けたくない理由は、「交通が不便である」が69.6%と最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」が48.0%、「遊べる場所が少ない」が43.2%となっています。
- 綾部市外に引っ越す予定は、「引っ越す予定はない」が72.3%と最も高く、次いで「わからない」が14.0%となっています。なお、「引っ越す予定である」「予定はないが、いずれ引っ越すと思う」を合わせると、9.9%となっています。
- 市外に引っ越す理由は、「進学や就職・転勤のため」が40.3%と最も高く、次いで「その他」が22.7%となっています。「その他」の具体的な内容としては、「退職のため」「老後のため」「老後を考えて」といった高齢になることを理由とした回答や、「車がないと生活できない」「便利な所が良い」といった利便性に関する理由が多くなっています。
- 最も魅力のある市・町の主な魅力は、「生活環境」が33.9%と最も高く、次いで「交通利便性」が33.6%、「まちなぎわい」が28.9%となっています。

●人口減少対策に向けて、「雇用の場づくり」に関する取組が求められている

- 綾部市の人口減少対策を進める際の方向性は、「若者等の雇用の場の確保を進める」が30.4%と最も割合が高く、次いで「子どもを産み・育てやすくするための取組を進める」が18.1%となっています。
- 綾部市のまちづくりに対する意見・提案（自由意見）においても、「産業・雇用について」の意見が多くなっています。

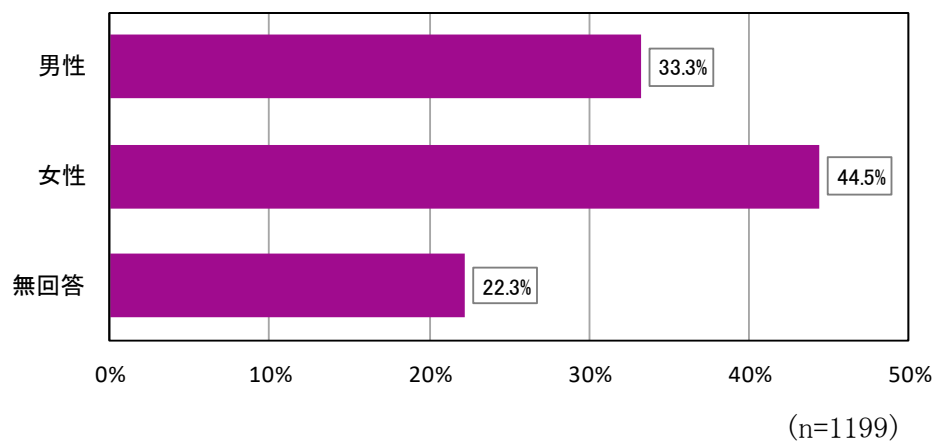
2 綾部市のまちづくりに対する意見・提案（F A）

○334 人から 520 件の意見がありました。主な意見内容は次のとおりです。

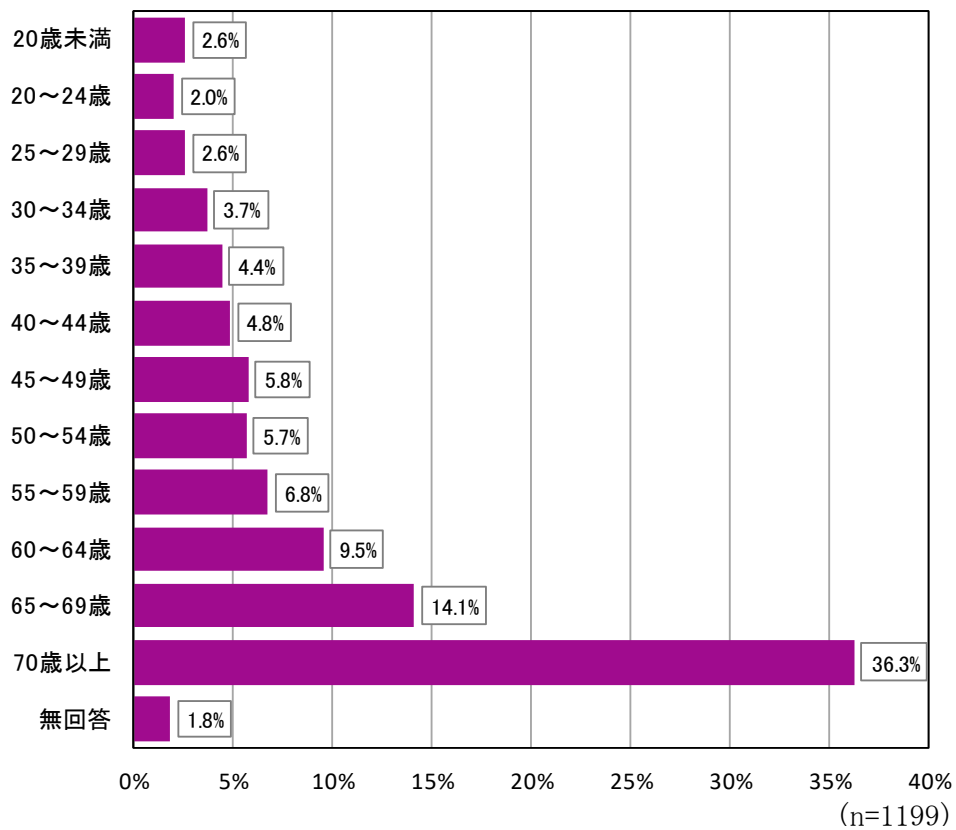
意見内容	件数
将来像、まちづくりの方向について	88
<ul style="list-style-type: none"> ◇若者がとどまるまち、活気があり夢があるようなまち、若い人が住みやすいまち ◇高齢になっても安心して住めるまち ◇災害のない安心して暮らせるまち ◇北部一の教育のまち ◇子どもと子育て家庭にやさしいまち 	
産業・雇用について	78
<ul style="list-style-type: none"> ◇観光事業、森林事業、農業事業の推進 ◇飲食店の増加、商店街の活性化 ◇家族で遊べる施設、ショッピングモール 	
行財政運営について	74
<ul style="list-style-type: none"> ◇限られた財源の中で、市民が重要としている項目に重点をおき、充実させる ◇綾部固有の良さに気づき、全国に発信することが大切 ◇首都圏などの大都市圏の自治体と連携（合併するくらいの気持ち）で互いが共存共栄できるような町づくり ◇もう少し総合計画の内容がわかりやすい方がよい ◇市民の声を多く拾って欲しい 	
道路・交通について	48
<ul style="list-style-type: none"> ◇高齢になり車が乗れなくなった人への対応 ◇バス、鉄道の利便性の向上（山陰線の複線化、京都までのJR快速の運行、高速バス等） ◇幹線道路の早期歩道設置、災害後の道路の早期復旧 	
教育・文化・スポーツ・レクリエーションについて	44
<ul style="list-style-type: none"> ◇新しい図書館の早期実現 ◇大学等の誘致 ◇教育環境（学校設備や教員教育）をよくし、綾部へ行けばより良い教育を受けられるなどの未来を見据えられる近隣の市へのアピール ◇子どもの頃からの人間形成の教育の充実 ◇子ども・高齢者のスポーツ振興 	
福祉・社会保障	35
<ul style="list-style-type: none"> ◇保育サービスの充実、日・祝でも預かってくれる所を作ってほしい ◇小さい子どもから遊べる室内施設があればよい ◇障害者福祉をもっとちゃんと考えてほしい。障害者の短期入所、入所施設の整備 ◇介護保険の窓口是誰が行っても受け付けてほしい 	

意見内容	件数
<p>土地利用、住環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇土地の有効活用（宅地利用や商業施設化する）等、観光や産業ばかりに力を入れるのではなく、若い世代に「綾部は子育てしやすい環境で住みやすそう！」と思ってもらえる事が綾部市の人口増加につながるのではないかと ◇SAエリアなど多くの人が集まる場所づくり ◇地域住居の推進。都会と綾部市。京阪から1時間あまりで往復できるので、住む所と畑等のセットで行えばいいのではないかと ◇空き家を格安で借りたり、買えるような制度をもっと進めて欲しい ◇駅前整備 	29
<p>保健・医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇医療の充実（病院の充実、小児科病院の整備、常勤医の確保等） ◇健康長寿のための取り組み（近くの公民館、空き施設でプロによる又は、市職員による身体機能回復運動や、予防運動など無償で提供して欲しい） ◇がん検診、健康診断の充実 	24
<p>アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アンケートや意見を取っただけで終わらせないでほしい ◇綾部市のまちづくりについて、問10②過去5年間の「改善度」はよほど市政に関心があり、広報などしっかり目を通していている人でないと答えにくいのではと感じました ◇アンケート調査をして頂きありがとうございます。お世話になります ◇こういった画一的なアンケートが有効とは思えない 	19
<p>人権、市民活動、平和の発信、交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇村用・自治会行事の少ない町にしてほしい ◇市民参加型で、つながり合える催し物などを行う ◇地域の中で、向う三軒両隣の絆が保たれる町づくりが大切 ◇市民が自らの町は自らで様々な取り組みを出来るような環境づくり 	17
<p>防犯・防災、消防・救急、交通安全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇土砂災害が心配される時の避難場所をもっと明確にして欲しい ◇消防団の訓練は、災害防止や救急対応など実践的な訓練を中心に ◇災害に弱い。復旧が遅い。インフラの整備が行き届いていない ◇街灯が少なく夜になると暗いので、街灯を増やして下さい 	17
<p>上下水道について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇水道料金の値下げ ◇公共下水道の充実 ◇大雨時の下水の排水対策 	13
<p>その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇公園の整備 ◇由良川の水を美しくプラゴミの無い町を ◇綾部市に期待しています。一体となり頑張りましょう 	16

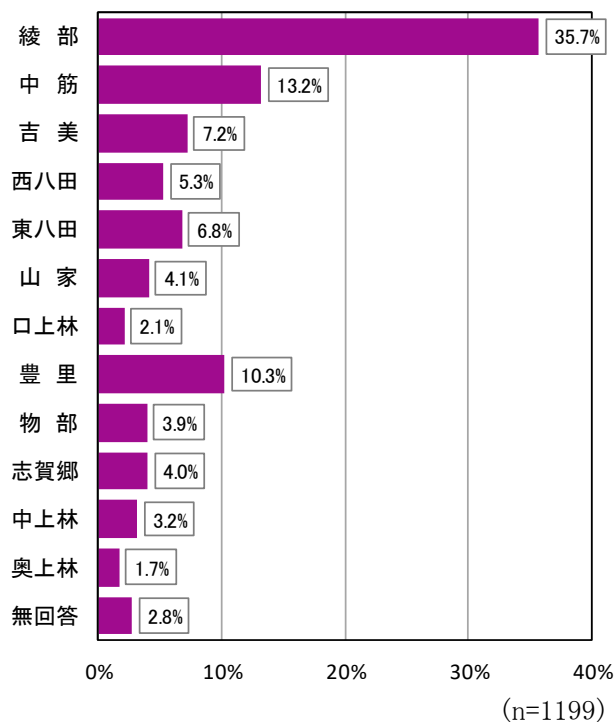
3 回答者自身のこと ①性別（SA）



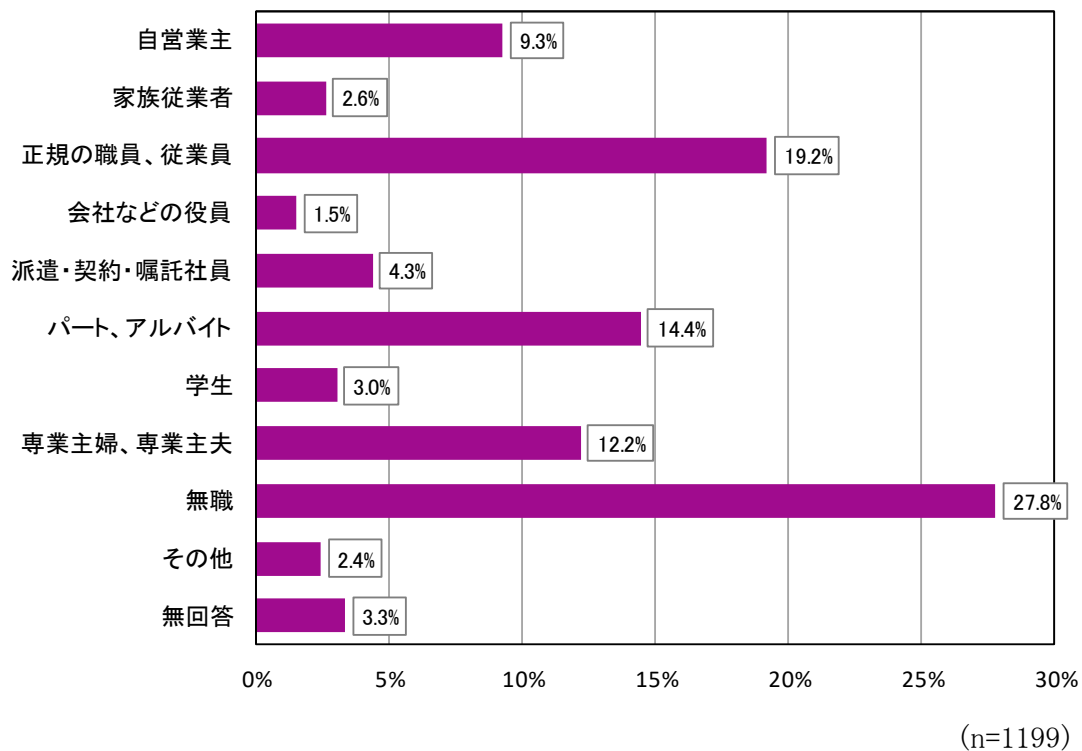
3 回答者自身のこと ②年齢（SA）



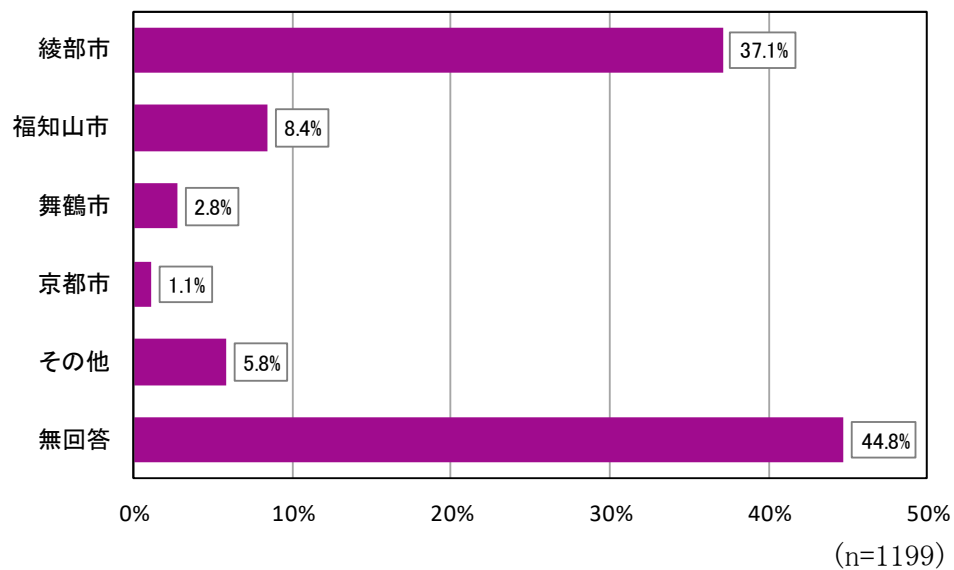
3 回答者自身のこと ③住まいの地域（SA）



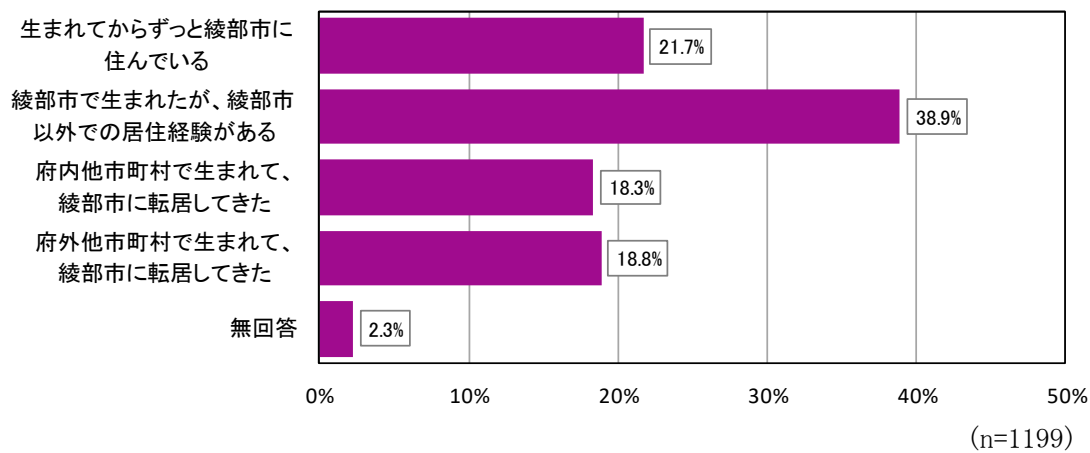
3 回答者自身のこと ④職業等（SA）



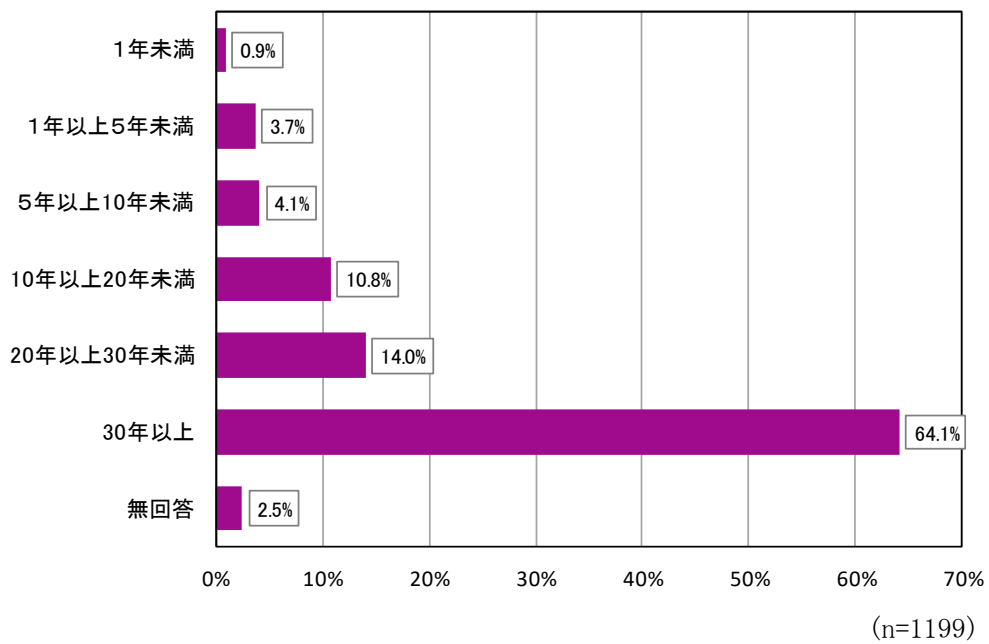
3 回答者自身のこと ⑤通勤・通学先（SA）



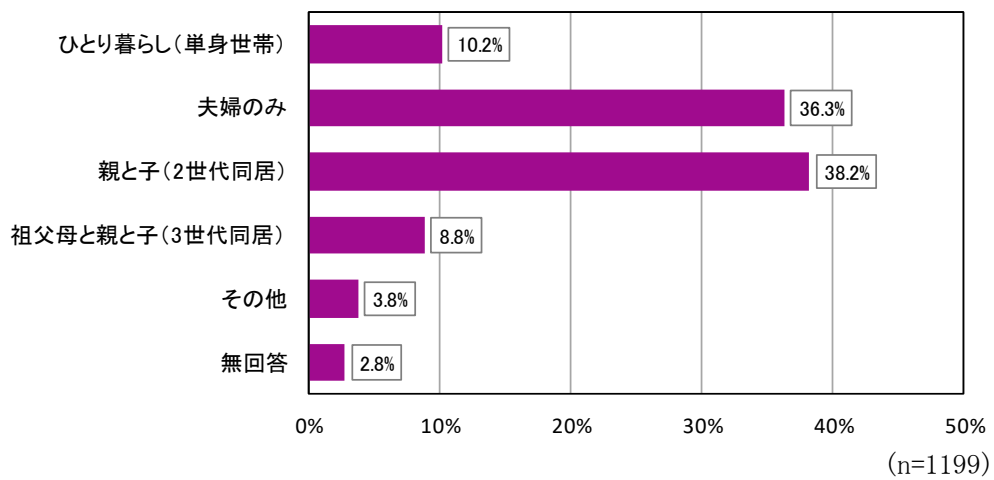
3 回答者自身のこと ⑥居住歴（SA）



3 回答者自身のこと ⑦居住年数 (SA)



3 回答者自身のこと ⑧家族構成 (SA)



2. 中学生意識調査結果

1 調査結果の概要

●綾部市の自然環境は中学生においても定住意向につながっている

- 綾部市に対するイメージは、「自然が豊かなまち」が80.2%と最も割合が高く、次いで「治安のよいまち」が32.1%となっています。
- 住みたい理由として、「生まれてから住んでいて、愛着があるから」が49.6%と最も高く、次いで「自然が豊かで、まちの景観が良いから」が44.1%、「家族や友人などから離れたくないから」が33.1%となっています。

●中学生においても、住みたくない主な要因は「交通」「買い物」の不便さとなっている。今後のまちづくりの方向として、買い物の利便性やにぎわいが求められている

- 綾部市に将来も住みたいかは、「わからない」が38.6%と最も割合が高く、次いで「市外に引っ越したい」が34.6%、「市外に引っ越しても将来戻ってきたい」が21.1%、「ずっと住み続けたい」は3.7%となっています。
- 住み続けたくない理由は、「交通や買い物など、いろいろな面でもっと便利なところに住みたいから」が69.5%と最も高く、次いで「綾部市にはない、いろいろな職業の中から自分の道を選びたいから」が59.3%となっています。
- 最も魅力のある市・町の主な魅力は、「交通が便利」が34.2%と最も割合が高く、次いで「まちなぎわい」が27.6%、「生活環境」が22.3%となっています。
- 綾部市がどのようなまちになると良いかは、「商業が盛んで、買い物に便利な、にぎわいのあるまち」が47.6%と最も割合が高く、次いで「災害に強く、事故や犯罪のない、安全なまち」が22.7%となっています。
- あなたが綾部市の市長になったら、やってみたいまちづくり（自由意見）では、「商業・観光について」の意見が特に多い。

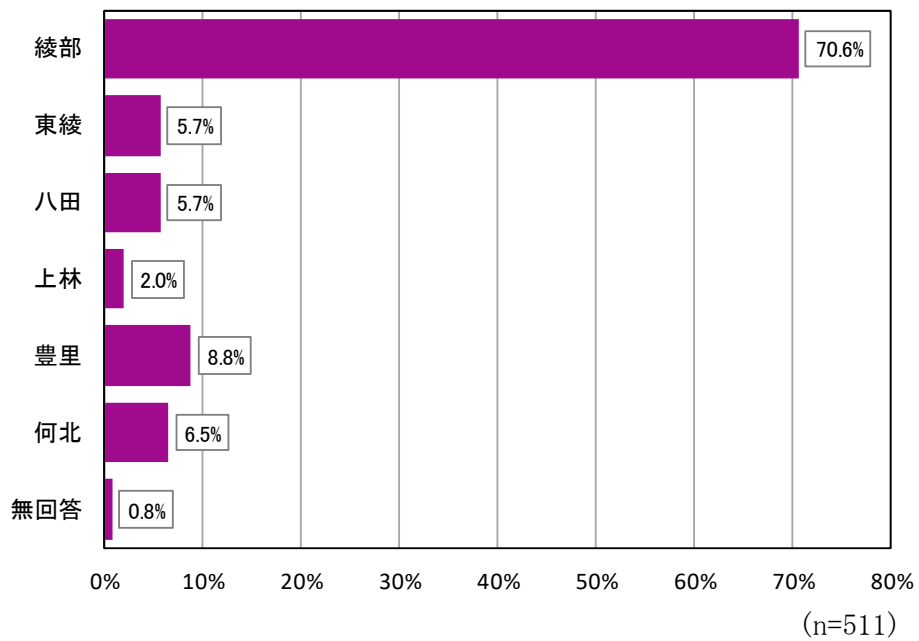
2 あなたが綾部市の市長になったら、やってみたいまちづくり（FA）

○404 人から 515 件の意見がありました。主な意見内容は次のとおりです。

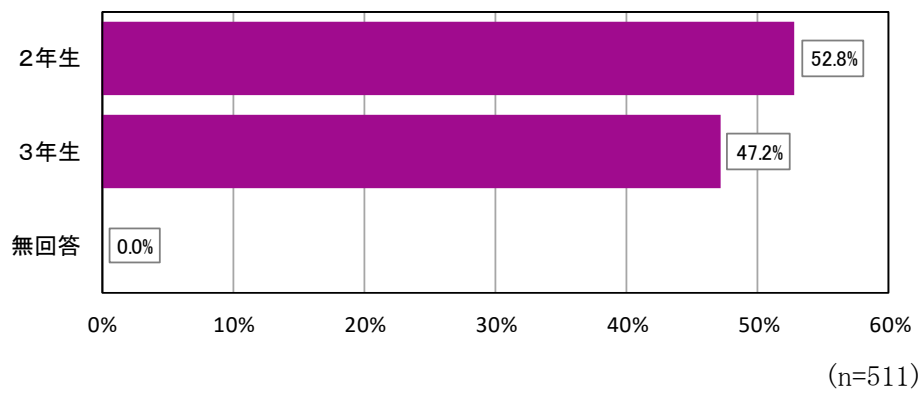
主な意見内容	件数
商業・観光について ◇店を増やす（飲食店、雑貨店、大型ショッピングモール、コンビニ等） ◇娯楽施設をつくる（映画館、ゲームセンター、ラウンドワン等） ◇綾部の特徴的な物（特産品、黒谷和紙など）を大切にしたい ◇観光客を増やす	115
安心・安全について ◇安全な町づくり、安心して暮らせる町 ◇災害に強い町（由良川の氾濫をなくす、避難所の整備） ◇事故や犯罪をなくしたい、街灯を多くする、登下校の道の安全を見直す	60
道路・交通について ◇交通網の整備 ◇交通を便利にする（バス、電車の増便、高齢者の交通支援） ◇道路の整備、改良、美化	58
住みやすい、暮らしやすいまちづくりについて ◇生活しやすい便利な町 ◇住みやすく、自分の地元として帰りたいと思える町づくり ◇どの世代の人も暮らしやすい場所にしたい	39
みんなが楽しめるまちづくりについて ◇イベントを増やす ◇小さい子どもからお年寄りまで、広い年齢層の人が楽しく生活できるような町づくり ◇祭りなどが賑やかな町であるようにしたい	34
教育・文化・スポーツについて ◇高校や専門学校、大学がたくさんある町にしたい ◇生まれた環境によって夢を諦めることのない町。親を気づかって進学できない事がないようにしたい ◇スポーツ施設の整備（テニスコート、陸上競技場、バスケットコート、中学校にプール）	33
福祉・保健・医療について ◇お年寄りから子どもまでみんなで支えあえる町づくり ◇福祉系が充実している市 ◇医療や健康サービスが充実し、健康な人が多いまち	29

意見内容	件数
自然の保全・充実・活用について	25
<ul style="list-style-type: none"> ◇自然豊かなまち ◇自然を生かしてできる活動などをしてしたい ◇もっと他の人（違う市町）に自然を知ってもらえるようなイベントをする 	
バランスの良いまちづくりについて	17
<ul style="list-style-type: none"> ◇最先端の技術を取り入れつつ、自然と共存できているまち ◇自然のものなどを壊さず発展させたい ◇都会のような便利さも取り入れつつ、田舎の良さも出して行く 	
都会化、活性化について	14
<ul style="list-style-type: none"> ◇高いビルやマンションなどをつくる ◇活気のあるまち 	
公園、公共施設の整備について	13
<ul style="list-style-type: none"> ◇公園を増やす ◇公共施設を整備する 	
市民の声を聞くについて	11
<ul style="list-style-type: none"> ◇市民の声をたくさん聞くようにしたい ◇1人の意見でなく、皆の意見を取り入れて作っていく 	
その他のまちづくりの方向、イメージについて	11
<ul style="list-style-type: none"> ◇差別やいじめのないまち ◇魅力のある ◇自由なまち 	
環境整備について	9
<ul style="list-style-type: none"> ◇環境の整備をする（建物をきれいにする、ポイ捨てをなくすなど美化） ◇安場に下水を整備する 	
人口増について	9
<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもを持つ家族が住みやすいまちを作って人口を増やす ◇生活しやすく、人口が増えるようなまちづくりをしたい 	
交流について	9
<ul style="list-style-type: none"> ◇他の市町村との交流や、海外との交流も増やしていく ◇お互いを尊重し、地域住民の交流を増やせる政策 	
仕事について	8
<ul style="list-style-type: none"> ◇充実した職場をつくる。（色んな職業を作る） ◇障害者の職場を増やしたい 	
その他について	21
<ul style="list-style-type: none"> ◇まゆピーと綾部市について語る ◇知名度が高く、このまちから世界に出る人がいるまち ◇綾部市の出来事をテレビに映したい ◇中丹や北部の市町で協力し、由良川や人口減少などの共通の課題を改善していく 	

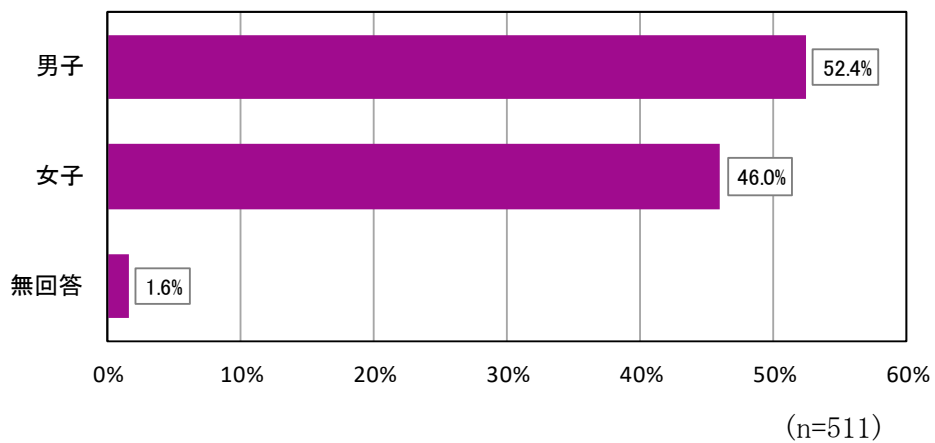
3 回答者自身のこと 学校名 (SA)



3 回答者自身のこと 学年 (SA)



3 回答者自身のこと 性別 (SA)



3. 企業従業員（市外在住）意識調査結果

1 調査結果の概要

●綾部市の自然環境は市民の定住だけでなく、移住にもつながっている

- 綾部市と住まいの市町村に対するイメージは、いずれも「自然が豊かなまち」の割合が最も高くなっていますが、綾部市は76.7%と住まいの市町村の65.7%を11ポイント上回っています。
- 綾部市に住みたい理由として、「自然が豊かである」が62.5%と最も高く、次いで「今の居住地より通勤しやすい」が37.5%、「居住環境がよい」が33.3%となっています。

●企業従業員（市外在住）においても、住みたくない主な要因は「交通」「買い物」の不便さとなっている。今後のまちづくりの方向として、買い物の利便性やにぎわいが求められている

- 最も魅力のある市・町の主な魅力は、「生活環境」が48.1%と最も高く、次いで「交通利便性」が43.0%、「まちのにぎわい」が31.6%となっています。
- 綾部市に住みたくない理由は、「日常の買い物が不便である」が59.3%と最も割合が高く、次いで「交通が不便である」が56.2%、「各種施設が乏しい」が45.9%となっています。
- 綾部市がどのようなまちになると良いかは、「商業が盛んで、買い物に便利な、にぎわいのあるまち」が45.6%と最も割合が高く、次いで「出産、子育てをする環境が充実した、子育てしやすいまち」が30.6%となっています。

●人口減少対策に向けて、「雇用の場づくり」に関する取組が求められている

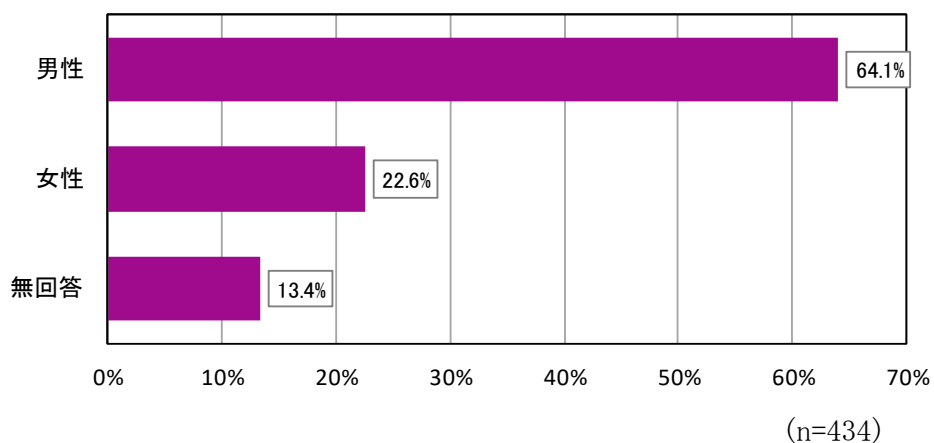
- 綾部市の人口減少対策を進める際の方向性は、「若者等の雇用の場の確保を進める」が24.7%と最も割合が高く、次いで「子どもを産み・育てやすくするための取組を進める」が24.0%となっています。
- 綾部市のまちづくりに対する意見・提案（自由意見）においても、「産業・雇用について」の意見が特に多くなっています。

2 綾部市のまちづくりに対する意見・提案（F A）

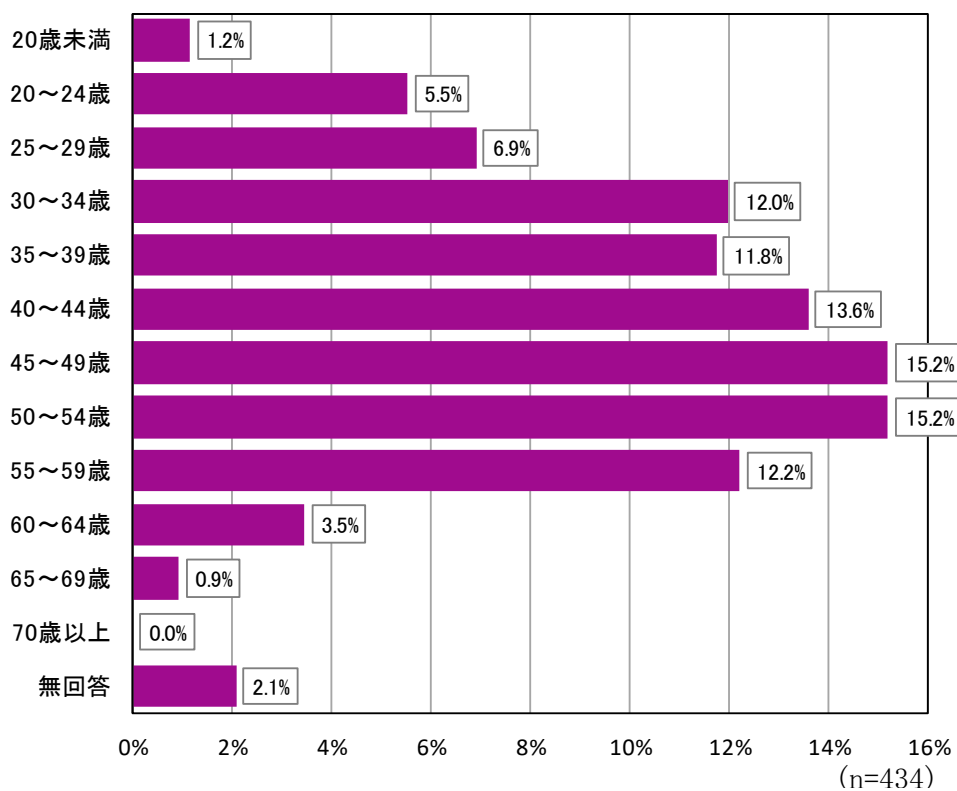
○59人から83件の意見がありました。主な意見内容は次のとおりです。

主な意見内容	件数
産業・雇用について	24
<ul style="list-style-type: none"> ◇大型ショッピングモールの誘致 ◇飲食店を増やす ◇商店街の活性化 ◇中丹技術支援室を中心にものづくりの技術を充実させる 	
行財政運営について	14
<ul style="list-style-type: none"> ◇情報発信の充実（市民への取組方向の広報、綾部市の魅力や古民家情報等の全国への発信） ◇施設やイベント等特色ある取り組みの推進 ◇市中心部と僻地で公共サービスの恩恵に大きな差が生じないように 	
土地利用・住環境整備について	13
<ul style="list-style-type: none"> ◇駅、駅周辺の開発 ◇若者が楽しく遊べる場所づくり ◇移住者に対する補助金 	
福祉・社会保障、保健・医療について	7
<ul style="list-style-type: none"> ◇雨天でも子どもの遊べる施設 ◇子ども出産時の祝い金 ◇子どもや高齢者に配慮が行き届いていること 	
教育・文化・スポーツについて	6
<ul style="list-style-type: none"> ◇他県からも通学できる高校や大学があればいい ◇屋内（テント型のような）テニスコート等、スポーツ施設を充実し、周辺に民宿を配置して、合宿できるようにする ◇テニスコートの利用手続きが土・日にもできるように利便性の考慮 	
道路・交通について	6
<ul style="list-style-type: none"> ◇交通網の整備 ◇電車の本数の増便 ◇京都市内までの直通バスの運行、工業団地へのアクセス向上（巡回バスを24時間運行） 	
その他について	13
<ul style="list-style-type: none"> ◇転勤の独身者と、綾部市出身の人が交流できるイベント（街コンなど）が増えれば少しは活気が出るのかな ◇水道料金の値下げ、都市ガス使用可 ◇公園が少ない ◇自然豊かな環境で優しい子育てのできる町づくりを目指してもらえば良い 	

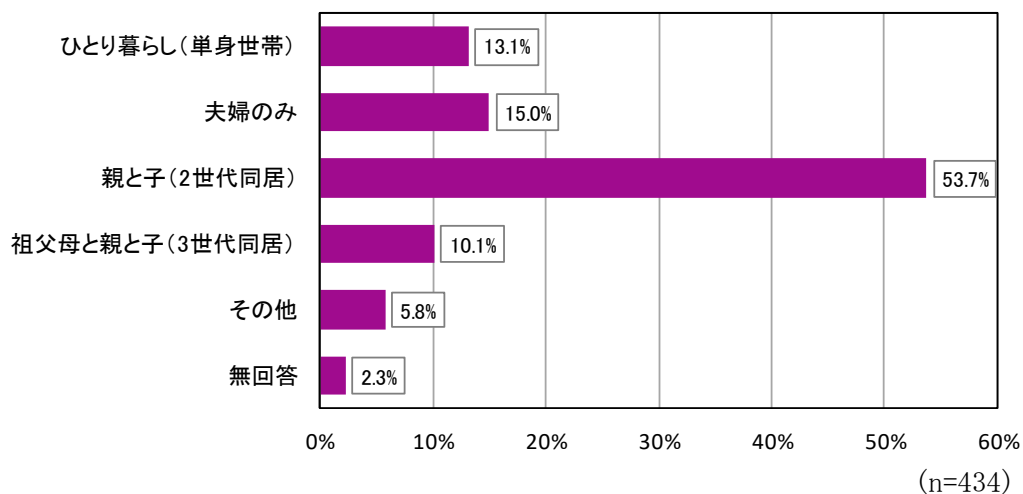
3 回答者自身のこと ①性別 (SA)



3 回答者自身のこと ②年齢 (SA)

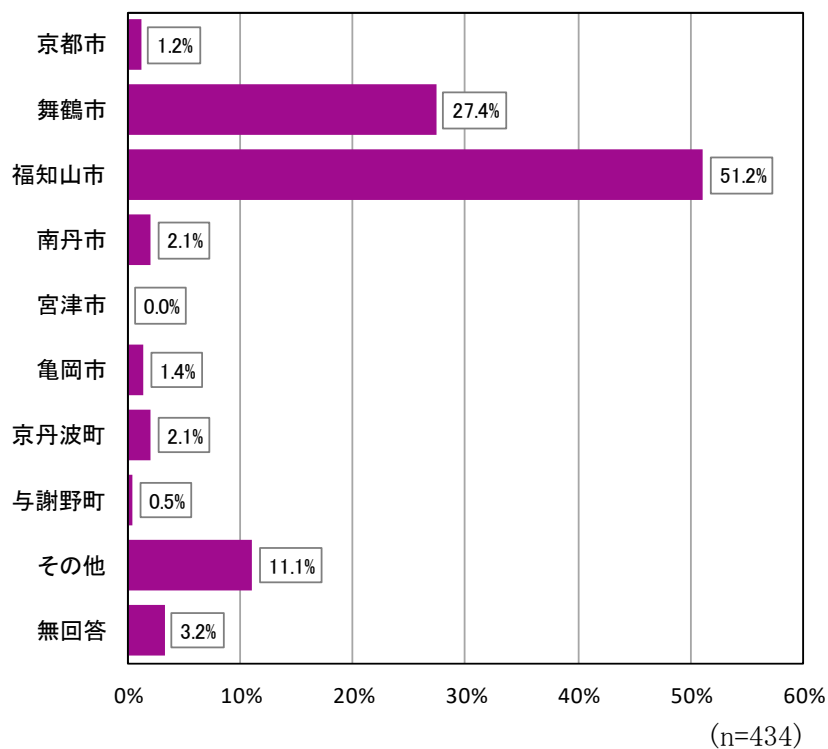


3 回答者自身のこと ③家族構成（SA）



3 回答者自身のこと ④住まいの市町村（SA）

○「その他」については“近江八幡市”“野洲市”“守山市”“甲賀市”“栗東市”などの滋賀県、“朝来市”“丹波市”“伊丹市”“丹波篠山市”“豊岡市”などの兵庫県の回答が多くなっています。



3 回答者自身のこと ⑤雇用形態（SA）

